

平成29年度

当別町の教育

当別町教育委員会

平成29年4月スタート

「併設型」による小中一貫教育

全中学校区で
実施!

平成29年度から当別町では、すべての中学校区で「併設型」の小中一貫教育がスタートしました。「併設型」は、校舎（敷地）が別々の小学校と中学校で、教員や児童生徒が移動して学習したり活動したりします。

小中一貫教育には、「併設型」「分離型義務教育学校」「一体型義務教育学校」がありますが、今後、より教育効果の高い「一体型義務教育学校」への移行を視野に入れて進めていきます。

「併設型小学校・中学校」

小学校と中学校はそのまま、教員や子どもが交流するスタイル
※2つの校舎・2人の校長

「分離型義務教育学校」

1～9年生（小1～中3）がそれぞれの校舎で学ぶスタイル
※2つの校舎・1人の校長

「一体型義務教育学校」

1～9年生（小1～中3）が1つの校舎で学ぶスタイル
※1つの校舎・1人の校長

小学校



目標の共有・カリキュラム連携
教職員・児童生徒の交流

中学校



平成29年10月(予定)

コミュニティ・スクールによる「地域とともにある学校」づくり

当別町では平成29年度中にすべての学校でコミュニティ・スクールを導入します。

小中一貫教育の実現・充実のためには、教育課程だけでなく、子どもたちの家庭や地域の中での学び、発達段階に応じた心の成長等も一緒に考える必要があります。そこで、保護者や地域住民と子どもたちの義務教育9年間について話し合う場の設置が必要です。そこで、コミュニティ・スクールは、「学校運営協議会」の委員に任命された保護者や地域の方々が「熟議(*)」を通して学校運営に参画する「地域とともにある学校」の仕組みです。

平成29年度下期導入に向け準備を進めていますが、学校運営協議会での熟議を通して、子供たちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子供を育てていくのか、何を実現していくのかという「目標・ビジョンを共有」し、当事者意識を持ち、「役割分担をもって連携・協働による取組」を行うことで、「『地域とともにある学校』づくり」を推進していきます。



※熟議とは…

協働をめざした対話のことをいいます。具体的には、下記のようなポイントを満たした、協働に向けた一連のプロセスを指します。

- (1) 多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、
- (2) 課題について学習・熟慮し、議論することにより、
- (3) 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
- (4) それぞれの役割に応じた解決策が洗練され、
- (5) 個々人が納得して自分の役割を果たすようになる

小中一貫教育 各学校（学校区）の取組から

当別地区（当別小学校・当別中学校）

◆ドリカムプロジェクト

小・中学校で家庭学習の方法や板書の仕方など、統一性のある学習規律の共有を図っています。

◆小中教職員交流会

小・中学校の教員が互いの授業を参観した後、指導方法の違いや児童生徒の様子等を交流し、小中一貫教育の取組について協議をしています。

平成28年度は、小学校の音楽の授業に当別中学校吹奏楽部員が楽器の紹介として参加し、児童の前で演奏を披露しました。

◆6年生の中学校登校

中学校生活への不安解消と中学校教員による専門的な指導に触れることを目的として、6年生の中学校登校を実施しています。中学生との交流では小学校と中学校の違いを先輩から学び、中学校教員による専門性を生かした授業を体験することで、進学に対する不安の解消を図っています。

◆小中一貫教育推進講師の配置

小学校・中学校を行き来し、算数・数学の学習指導を行っています。また、小学校・中学校に「小中一貫教育掲示板」を設置し、「小中一貫教育便り」や互いの学校だより等を交流しています。

「小中一貫した
家庭学習の手引」



吹奏楽部員による演奏



教職員の交流のようす

中学校登校
のようす



西当別地区（西当別小学校・西当別中学校）

◆クリーン作戦

小・中学生と一緒に地域のごみ拾いをするすることで、地域の一員であるという自覚を持たせるとともに、小中学校の連携を深めています。

◆小中合同芸術鑑賞

西当別小学校で行われた芸術鑑賞に西当別中学校の1年生が参加し、大人になった先輩の姿を小学生に見せることで、中学校への憧れを持たせています。

平成28年度は、バイオリニストの大平まゆみさんをお招きしました。

◆小中教職員交流会

当別地区同様、小・中学校の教員による交流会を実施し、児童生徒の交流や小中一貫教育の取組について協議をしています。

◆6年生の中学校登校

当別地区同様、小学6年生の中学校登校を実施しています。中学校教員による授業のほか、部活動体験を実施し、中学校生活のイメージを持たせ、不安解消を図っています。

◆小中一貫教育推進講師の配置

当別地区同様、小・中学校での学習指導や校内掲示板を設置しています。



大平まゆみさんによる
バイオリンコンサート



西当別小学校に設置された
「小中一貫教育」掲示板

中学校登校
のようす



目 次

【 目 標 ・ 予 算 】

1 教育目標	1
2 教育大綱	2
3 平成29年度当別町教育推進計画	4
4 教育予算	5

【 学 校 教 育 】

1 小中学校現況	
(1) 児童生徒・教職員数及び施設の概況	8
(2) 児童生徒数の推移	9
(3) 各学校統合年の一覧	10
(4) 各学校概況	
当別小学校	13
西当別小学校	15
当別中学校	17
西当別中学校	17
2 平成29年度当別町学力向上プラン	19
3 小中一貫教育	21
4 学校給食	24
5 保護者支援制度（学校教育）	
(1) 就学援助	25
(2) 特別支援教育就学奨励費	26
(3) 特別支援学級等通学援助費	26

【 社 会 教 育 】

1 社会教育関係事業	
(1) 学校教育との連携事業	27
(2) 生涯学習推進事業	28
(3) 読書活動推進事業	29
(4) 生涯スポーツ推進事業	30
2 社会教育施設	31

【 子 育 て ・ 幼 児 教 育 】

1 子育て・幼児教育関係事業	
----------------	--

(1) 特別保育事業	36
(2) 子ども発達支援センター事業	37
(3) 学童保育事業	38
(4) 子育て支援事業	39
2 子育て・幼児教育施設	40
3 保護者支援制度（子育て・幼児教育）	
(1) 私立幼稚園助成費	41
(2) 教育・保育施設等助成費	41

【 資 料 】

1 教育委員	43
2 教育委員会組織図及び各課の分掌事務	45
3 教育関係各種委員	46
(1) 当別町教育支援委員会	
(2) 当別町特別支援教育推進サポート組織	
(3) 学校評議員	
(4) 当別町いじめ問題調査委員会	
(5) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師	
(6) 当別町学校給食センター運営委員会	
(7) 当別町社会教育委員会	
(8) 当別町文化財調査審議会	
(9) 当別町少年指導センター	
(10) 当別町子ども読書活動推進委員会	
(11) 当別町スポーツ推進委員会	
(12) 当別町子ども・子育て会議	
(13) 当別町要保護児童対策地域協議会	
4 教育関係各種団体	52
(1) 当別町文化協会加盟団体	
(2) 当別町体育協会加盟団体	
(3) 当別町子ども会育成連合会加盟団体	
(4) 当別町女性団体連絡協議会加盟団体	
5 指定文化財一覧	54
6 教育の沿革	55

目標・予算

- 1 教育目標
 - 2 教育大綱
 - 3 教育推進計画
 - 4 教育予算
-



当別町教育目標

強じんな精神とたくましい身体をつくる。

科学的な知識や技能を身につける。

豊かな情操の涵養と文化の創造につとめる。

自主的な判断力と社会的徳性をつちかう。

明るく豊かで住みよい郷土をきずく。

学校教育推進目標

- ひとりひとりを生かす創意ある学校経営。
- 自ら考え創造する力を育てる学習指導。
- 豊かな心で自ら実践する力を育てる生徒指導。
- 生命を尊ぶ態度と強い身体を育てる健康安全指導。

社会教育推進目標

- 自ら学び自ら活動し伝統を生かし当別二世紀をつくる町民の育成。
- 明日を創造する青少年をたくましく育てる社会教育の推進。
- 健康な心身をつくり明るいまちをつくる社会教育の推進。
- 楽しさと生きがいをつくり育てる社会教育の推進。

[昭和31年 制定]

➤ 2 教育大綱

当別町教育大綱

1 策定の趣旨と位置づけ

この大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づき、本町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その根本となる方針を定めるものである。

なお、この大綱は、町長と教育委員会で構成する「総合教育会議」において協議、調整し町長が定める。

2 期 間

原則として平成27年度から平成30年度までの4年間とする。なお、必要に応じ、内容を見直すことができる。

3 関連計画等

- (1) 当別町第5次総合計画（平成21年度から概ね10年）
- (2) 第4次当別町生涯学習推進計画（平成26年度から平成30年度）
- (3) 平成27年度町政執行方針
- (4) 平成27年度教育行政執行方針
- (5) 平成27年度当別町教育推進計画
- (6) 当別町小中一貫教育に関する取組基本方針（平成27年度以降）

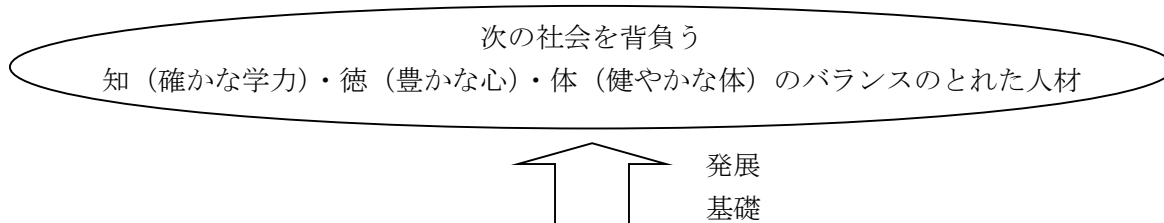
4 基本方針

(1) 学校教育

変化の激しい時代を生きる子どもたちに、基礎基本をしっかりと身につけさせ、思考力や判断力を磨き、主体性をもって多様な人々と協働し、自らの手で自らの人生を切り開いていける力をつける教育を行う。

【育てたい児童・生徒像】

次の社会を背負っていきける、知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健やかな体）のバランスのとれた人材の育成を目標に、下記①～⑥の児童・生徒像を掲げる。



【育てたい児童・生徒像～身につけさせたい力～】

- ①基礎基本と発展的学力、自ら学ぶ意欲
～将来の夢や希望を実現するために努力し、行動できる子ども～
- ②豊かな人間
～自分を大切に、人を大切に、未来を見つめ当別を大切にできる子ども～
- ③健康な心身
～未来の当別を支える健全な心身を持つ子ども～
- ④コミュニケーション能力
～自分の考えや思いを伝え、聞くことで積極的に人間関係を築く力を持った子ども～
- ⑤プレゼンテーション能力
～あらゆる場面で自分の考えを自分の言葉で表現できる子ども～
- ⑥当別が好きな子ども
～当別の歴史や文化、産業を知り、好きになり、当別を自分の原点とする子ども～

(2) 社会教育

全ての町民が幸せを感じることでできる生涯学習社会の実現を目指す。

(3) 地域の教育力の活用

学校と保護者、地域の連携・協働によって、子どもたちの学びを支援する。

5 施策

(1) 学校教育

ア) 幼・保・小の接続及び小・中一貫教育の推進

小・中9年の連続した教育課程を確立し、義務教育段階での学習内容の定着を確かなものとする。さらに応用力を高めるなど、子どもたちの多様な進路希望をかなえる質の高い学力をつける。また、円滑な義務教育への移行のため、幼稚園や保育所との接続を重視した施策を行う。

イ) 国際理解教育の推進

グローバル化が進む中、豊かな国際感覚を身につけ、国際社会において主体的に行動できる能力（英語力等）の基礎をつくる。そのため ALT や ICT、地域人材を活用し、英語に触れ学ぶ機会を拡充していく。

また、小中一貫した教育課程を研究、実践する。

ウ) 中等（後期）・高等教育機関との連携の推進

当別高校、北海道医療大学、近隣の北海道教育大学等の知的・人的・物的資源（学生や教員、施設設備）を活用した、専門的講義や実習、体験活動等幅広い教育を行う。

エ) 教育環境の整備推進

校舎の老朽化対策を進め、学習環境の整備を図る。

(2) 社会教育

ア) 生涯学習の推進

住民ニーズに対応した学習機会の提供とともに、学習の成果が活用できる仕組みを構築し、生きがいややりがいにつながる事業を展開する。

イ) 生涯スポーツの推進

町民がそれぞれの体力や年齢・目的に応じて、継続的にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ環境の整備を行う。また、子どものスポーツ振興には特に留意し、体力向上や社会性、心の育成を進める。

ウ) 文化・芸術活動の推進

文化・芸術に関する学習機会の提供とともに、町民の自主的な活動への支援に努め、文化・芸術の薫り高いまちづくりを進める。

エ) 図書館機能の充実

当別町図書館像検討委員会からの答申をもとに、既存図書室の充実を図りながら、わが町にふさわしい図書館の実現に向け、関係機関との調整を進める。

また、子どもの読書活動については、その成長に大きな影響を及ぼすことから「第2次当別町子どもの読書活動推進計画」により、計画的に進める。

(3) 地域の教育力の活用

ア) 保護者や地域住民の意見を学校運営に反映させる、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入を進める。

イ) 学校支援地域本部の普及促進により、学校の教育活動を支援する。

ウ) 地域の多様な人材を活用し、当別の自然を活かした体験や放課後、休日の教育支援を促進する。

エ) ア～ウのような社会全体で子どもたちの学びを支援する取り組みを通し、学校を核とした地域づくりを進める。

3 平成29年度 当別町教育推進計画

めざす人間像

つけさせたい力と
目指す児童生徒像

- 基礎基本に基づき、養育的学力、自ら学ぶ意欲、夢や希望を実現するための努力、行動できる子ども
- 豊かな人間性、自己肯定感、未来に向けて、未来に向かって行ける子ども
- 健全な心身へ至るための基礎となる強い心と心身の能力、自己肯定感、自己肯定感、自己肯定感
- コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、自己肯定感、自己肯定感
- 当別が好きな子ども、当別に誇りを持ち、どこにいても当別を応援する子ども

(確かな学力) (豊かな心) (健やかな体)

～社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人～

基本方針	重点目標	【一貫教育による「確かな学力、豊かな心、健やかな体」の育成】	
子どもの発達や学びの連続性を踏まえた一貫教育の推進	<p>■学校の取組</p> <ol style="list-style-type: none"> 確かな学力 <ol style="list-style-type: none"> (1)「学校教育目標」ならびに「育みたい児童生徒像」の各小中間での共有。 (2)9年を通じた教育課程、系統表の活用。 (3)全国学力・学習状況調査結果の多角的分析と改善プランの作成。各教科全国平均以上を目指す取組。 (4)授業改善 <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業の展開。 ・ICTの活用。 ・習熟度別、少人数、T・T、乗り入れ授業の実施。 (5)一貫教育推進講師の活用 <ul style="list-style-type: none"> 算数・数学及び英語で実施する。これは将来の小学校での教科担任制に向けた実践であり、小中英語の接続を図るものでもある。 豊かな心 <ol style="list-style-type: none"> (1)道徳の時間を柱とし、教育課程全体で「心」を育てる取り組みの推進。 (2)小中学校間の生徒指導上の連続性を図る。 (3)ふるさと当別についての学びの充実。 (4)小中合同による芸術鑑賞の実施。 <p>■教育委員会の取組</p> <ol style="list-style-type: none"> 一貫教育推進と教育課程実施に対する支援・指導 全国学力・学習状況調査結果の分析と各校学力改善プランへの指導助言 小学校英語教育への支援 	<p>3 健やかな体</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)全校あげての体力向上策、特に「一校一実践」による基礎体力の向上。 (2)新体力テストの実施と多角的分析による改善プランの作成。全国体力・運動能力、運動習慣等調査で各種目全国平均以上を目指す取組。 (3)部活動の活性化や再編。 (4)小中間の部活動等による交流。 <p>4 独自教科「当別みらい学」</p> <p>「当別みらい学」は英語、ふるさと、キャリア教育の3本柱で構成される。平成29年度は学習指導要領改訂を見据え、既存の教科等の内容を整理したものをベースに実施し、将来の独自教科の確立につなげる。</p> <p>5 学校運営協議会の設置</p> <p>平成29年10月までの設置に向け、教育委員会と連携のもと準備を進める。</p> <p>6 特別支援教育の充実</p> <p>特別支援教育支援員を小学校各1名、中学校各2名配置し、その活用を図る。</p>	
機能の強化 給食センター	<p>【食育の推進】</p> <ol style="list-style-type: none"> 各校「食」に関する指導の全体計画」についての指導・助言及び評価。 巡回指導においては、各学年の到達目標に留意した指導の実施。 残食を減らすための指導やメニューの工夫・改善。 	<p>【安全安心、おいしい給食の提供】</p> <ol style="list-style-type: none"> 給食費の検討等、運営計画の見直し。 地場産物の更なる活用を図る。 当別高校家政科や食料改善協議会との共同によるメニュー開発に取り組む。 各学校アレルギー対応マニュアルに対する指導助言及び教職員研修の実施。 現地指導等、学校や委託業者、納入業者の衛生管理の徹底を図る。 	
基本方針	<p>【生涯学習推進】</p> <ol style="list-style-type: none"> 高校や大学、指定管理者と連携した学習プログラム展開 古文書解析等、当別の歴史研究を進めるとともに、当別町の歴史に関する学習講座を開講し、郷土についての理解を深める。 社会教育団体の活性化を図る。 自然体験学習の充実を図る。 	<p>【読書活動推進】</p> <ol style="list-style-type: none"> ブックスタート及びびびくセカンド、巡回図書等、子どもの読書活動の推進。 図書室機能の利便性を高めるため、蔵書管理システムの刷新。 	
【社会教育】	<p>【学校を核とした地域強化プログラム事業による児童生徒、学校支援】</p> <ol style="list-style-type: none"> 学校支援地域本部事業による学習会や講師派遣等、児童生徒及び学校支援への改善を図る。 <ol style="list-style-type: none"> (1)放課後学習会や土曜学習会、小学生の英語体験の充実による児童生徒支援と水泳やスキー、柔道等の講師派遣による学校支援の継続実施。 (2)学校支援地域本部運営委員会の学校運営協議会への協力体制に関する検討。 	<p>【家庭教育支援】</p> <ol style="list-style-type: none"> 道教委指定事業「学びカフェ」と子育て支援センターの共同による保護者支援を図る。 	
基本方針	<p>【幼児教育と小学校教育の接続の推進】</p> <ol style="list-style-type: none"> 幼保小間の情報共有、園児・児童交流、職員交流等により円滑な接続を図る。 福祉部局等との連携により、就学に向けた発達支援を行う。 	<p>【放課後児童健全育成事業の推進】</p> <ol style="list-style-type: none"> 子どももプレイルハイハウスでの学習習慣や体力向上の取組等、活動の質の向上を図る。 <ol style="list-style-type: none"> 児童相談所や要保護児童対策地域協議会など関係機関の連携協力体制の強化。 安心安全な環境をつくり、自主性や社会性の涵養を図る。 	<p>【子育て支援事業の推進】</p> <ol style="list-style-type: none"> 子育てガイドブックやHPによる、きめ細やかな情報提供を図る。 世代間交流事業や伝統文化事業等、子育て支援センターの機能向上を図る。 社会教育課と子育て支援センターとの連携により保護者支援を図る。
【子ども未来】	<p>支援する態勢の展開 子どもの健全育成を</p>	<p>【児童虐待防止等の対策推進】</p> <ol style="list-style-type: none"> 児童相談所や要保護児童対策地域協議会など関係機関の連携協力体制の強化。 	<p>【子育て支援事業の推進】</p> <ol style="list-style-type: none"> 子育てガイドブックやHPによる、きめ細やかな情報提供を図る。 世代間交流事業や伝統文化事業等、子育て支援センターの機能向上を図る。 社会教育課と子育て支援センターとの連携により保護者支援を図る。

点検評価

- 教育委員会においては、事務事業評価を行い外部による評価を受ける。
- 学校においては、各校で自己点検・評価を行い、それを基にした学校関係者評価を行う。

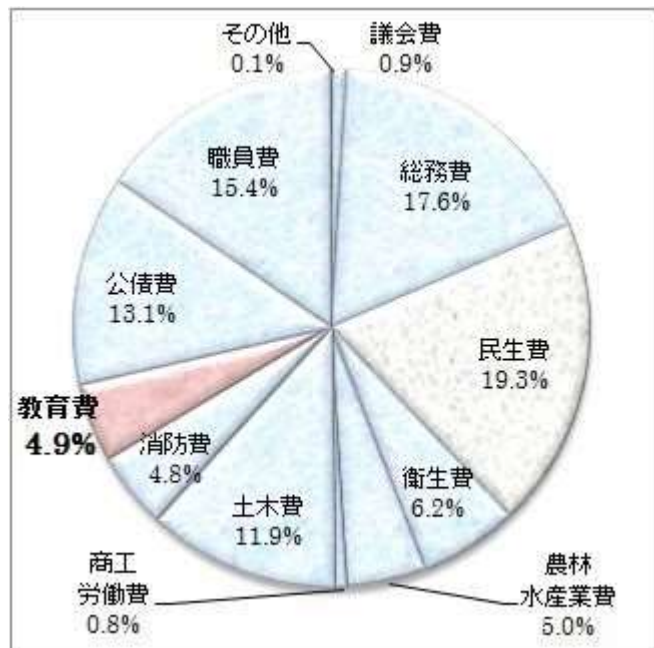
(地方教育行政の組織及び運営に関する法律)

学校経営計画

➤ 4 教育予算

1 平成29年度 一般会計当初予算額 93億4,789万円

区分	金額 (千円)	構成比 (%)
議会費	88,713	0.9
総務費	1,647,622	17.6
民生費	1,802,597	19.3
衛生費	578,765	6.2
農林水産業費	467,821	5.0
商工労働費	70,817	0.8
土木費	1,109,873	11.9
消防費	454,197	4.9
教育費	461,228	4.9
公債費	1,220,779	13.1
職員費	1,440,480	15.4
その他	5,005	0.1
総額	9,347,897	100



2 平成29年度 教育費当初予算額 4億6,122万円

区分	金額 (千円)	構成比 (%)
教育総務費	200,587	43.5
小学校費	87,942	19.0
中学校費	63,674	13.8
社会教育費	52,442	11.4
保健体育費	56,583	12.3
総額	461,228	100



(参考)

民生費当初予算額 (子ども未来課所管分)

区分	金額 (千円)
児童福祉費	448,481

3 教育予算の推移

年度	一般会計予算	増減率	教育費予算	増減率	構成比
平成25年度	7,527,474	▲1.2	429,241	4.9	5.7
平成26年度	7,715,027	2.5	420,603	▲2.0	5.5
平成27年度	9,415,656	22.0	443,840	5.5	4.7
平成28年度	8,761,182	▲7.0	464,729	4.7	5.3
平成29年度	9,347,897	6.7	461,228	▲0.8	4.9

※各年度当初予算額

4 主な事業

《管理課所管》

小中一貫教育推進事業 (634 千円)

小中一貫教育初年として、義務教育9年間の学びの連続性を踏まえた教育課程による指導のほか、小学校第6学年の中学校登校や中学校教員の小学校への乗り入れ授業等、児童生徒・教職員の交流を促進し、「小中一貫教育でめざす人間像」である「社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人材」の育成を図る。

小中一貫教育推進講師配置事業 (9,616 千円)

児童生徒の学びの連続性の確保のための「一貫教育推進講師(非常勤)」を各中学校区に2名ずつ配置し、小学校及び中学校での教科指導を実践し、学力の向上を図る。

コミュニティ・スクール運営事業 (573 千円)

小中一貫教育を地域全体で進めるため、学校・保護者・地域住民等で構成する「学校運営協議会」を設置し、コミュニティ・スクールによる「地域とともにある学校」づくりを推進する。

小中学校芸術鑑賞事業 (500 千円)

児童生徒の豊かな感性と創造性・思考力・コミュニケーション能力等の育成を図るため、小中学校で芸術鑑賞を行う。

各小中学校英会話指導助手配置事業 (4,476 千円)

小学校低学年から英語に親しみ、幼稚園・保育所からの継続的な英語教育の充実を図るため、小学校1年生から4年生までを年間10時間、5年生から6年生までを年間35時間、中学生を年間9時間とし、外国人講師による英会話指導助手を各小・中学校へ派遣する。

ICT を活用した教育環境向上事業 (985 千円)

効果的な授業の工夫・改善を図るため、平成28年の中学校導入に続き、各小学校の4年生から6年生用に国語と算数のデジタル教科書を購入する。

学校施設改修事業 (21,500 千円)

老朽化している学校施設の教育環境改善のため、西当別小学校の屋根を改修する。

学校給食センター改修事業 (23,922 千円)

機械設備及び厨房設備を計画的に改修することにより、町内小中学校の児童生徒へ安定した給食を提供する。

《社会教育課所管》

学校を核とした地域力強化プラン事業 (3,280 千円)

地域住民等がボランティアとして参画し、様々な学校の支援活動を行う学校支援地域本部事業や児童・生徒の家庭学習支援として放課後学習会、土曜教室や小学生が英語に慣れ親しむ事業を継続実施して、子ども達の教育の充実を図る。実施経費は、国・道・町がそれぞれ1/3を負担する。

社会体育施設等指定管理事業 (42,374 千円)

民間活力を生かし、住民サービスの向上を図るため、当別町総合体育館、白樺コミュニティセンター及び当別小学校水泳プールについて指定管理者制度を導入する。

《子ども未来課所管》

子育て支援センター運営事業 (2,888 千円 (児童福祉費))

乳児から就学前の子どもと保護者を対象に、子育て世代の交流の促進、子育て関連情報の提供、子育て相談等の実施に加え、新たに他世代との交流を推進することで、地域との協働により子育ての不安感の緩和や子どもの健やかな育ちを支援する。

放課後児童対策事業 (子どもプレイハウス) (18,097 千円 (児童福祉費))

就労等の理由により家庭に保護者のいない小学生に対し、放課後、長期休業日等における保育サービスの提供及び学習支援の実施により、児童の健全育成及び学力向上を図り、子育て支援の充実に寄与する。

教育・保育施設等給付事業 (120,664 千円 (児童福祉費))

子ども・子育て支援法に基づく教育・保育給付として、教育・保育施設等の利用者に対し費用の一部を負担することにより利用の促進へと繋がり、幼児教育の推進及び教育・保育サービスの充実を図る。

ふとみ保育所業務民間委託事業 (100,393 千円 (児童福祉費))

多様化する教育・保育ニーズに迅速かつ柔軟に対応するため、民間活力を導入し、ふとみ保育所の運営について業務委託を行う。(公設民営方式)

子ども発達支援センター運営事業 (19,815 千円 (児童福祉費))

心身の発達に特性を持つ児童に対し、利用者の多様なニーズ、生活環境及び対象児童の特質に配慮した療育の提示、指導等の療育支援を行う。療育支援にあつては、関係機関等とも連携し、効果的な支援体制の構築に努め、早期療育の推進と強化を図る。

学 校 教 育

- 1 小中学校現況
 - 2 当別町学力向上プラン
 - 3 小中一貫教育
 - 4 学校給食
 - 5 保護者支援制度
-

➤ 1 小中学校現況

1 児童生徒・教職員数及び施設の概況

学校名		学級数 (学級)		児童生徒数 (人)								教職員数 (人)					
		普通	特別 支援	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別 支援	計	校長	教頭	教諭	養護 教諭	事務 職員	栄養 教諭
1	当別小学校	12	4	39	56	57	46	68	66	7	339	1	1	19	1	2	1
2	西当別小学校	10	2	32	48	47	40	44	44	5	260	1	1	14	1	1	
小学校計		22	6	71	104	104	86	112	110	12	599	2	2	33	2	3	1
1	当別中学校	7	2	67	74	85				7	233	1	1	15	1	2	
2	西当別中学校	6	2	50	54	47				3	154	1	1	12	1	1	
中学校計		13	4	117	128	132				10	387	2	2	27	2	3	
合計		35	10							22	986	4	4	60	4	6	1

平成29年5月1日現在

学校名	校舎 構造	校舎面積 (㎡)	屋体面積 (㎡)	校地面積 (㎡)	校舎建設年	屋体建設年
当別小学校	R	4,922	983	20,967	昭和46年	平成24年
西当別小学校	R	4,351	702	15,789	昭和57年	昭和58年
小学校合計		9,273	1,685	36,756		
当別中学校	R	4,234	950	43,310	昭和44年	昭和44年
西当別中学校	R	3,839	678	28,749	昭和55年	昭和54年
中学校合計		8,073	1,628	72,059		
小中合計		17,346	3,313	108,815		

※R：鉄筋コンクリート造

2 児童生徒数の推移

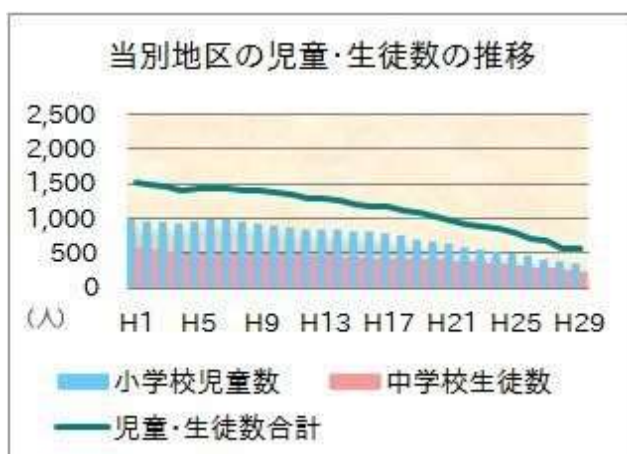
◆ 小学校児童数

年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
25	115	119	132	136	150	161	813
26	100	116	116	128	134	148	742
27	109	99	113	112	134	134	701
28	103	104	91	114	110	128	650
29	72	107	105	90	114	111	599

◆ 中学校生徒数

年度	1年	2年	3年	計
25	160	178	194	532
26	158	159	178	495
27	140	160	160	460
28	131	138	161	430
29	119	132	136	387

各年5月1日現在（単位：人）



3 各学校統合年の一覧

◆ 小学校

	学校名	統合年の一覧	
当別小学校	当別小		
	東裏小		H20
	蕨岱小		H19
	中小屋小		H18
	川下小		H16
	金沢小		H1
	材木沢小	S40	
	弁華別小		H28
	青山小	S50	
	青山中央小		H12
	二股小	S50	
	四番川小	S48	
	三番川小	S46	
	西当別小学校	西当別小	
太美小		S26	
獅子内小		S26	
当別高岡小			H3

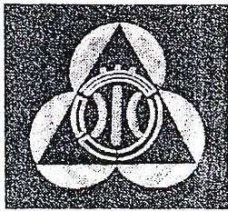
◆ 中学校

	学校名	統合年の一覧	
当別中学校	当別中		
	中小屋中		H17
	弁華別中		H28
	青山中央中		H12
	二股中	S48	
	三番川中	S46	
	四番川中	S42	
西当別中学校	西当別中		
	当別高岡中	S43	

4 各学校概況

当別小学校 (中学校併設型小学校)

校章・所在地



〒061-0222
 北海道石狩郡当別町元町 102 番地
 電話：0133-23-2102 FAX: : 0133-23-3760

【校章の意味】

中央に当別小の文字。3つの輪は考える〈智〉、明るい〈徳〉、元気な〈体〉の調和を表す。

校歌

一
 紫雲にけふる 阿蘇の山
 麓をめぐる当別の
 流れつきせぬ 学びやに
 至誠の華は香るなり

二
 由緒も深き 開拓の
 先人の意気しのびつつ
 心をつくし 身をつくし
 誠の道にはげみなん

作曲 末武 義雄
 作詞 大橋 涉

沿革の概要

明治 5年	鮎田如牛が当別町において開塾	平成 7年	学校給食開始
6年	「当別教育所」と改称	12年	コンピュータ教室設置
39年	校舎現在地移転	14年	開校130周年記念写真集作成
43年	北海道庁官より教育の侯に対し選賞		石狩管内教育機器連盟研究大会開催
大正 9年	校舎新築	16年	石狩管内教育実践奨励表彰受賞
昭和 22年	6・3制により「当別小学校」と改称		ことばの教室が通級指導教室となる
39年	特殊学級「いなほ」1学級認可	17年	オヤジの会発足
41年	石狩教育研究会特別活動中心校指定 プール完成 (当別学校プール1号)	24年	体育館改築
44年	体育館完成		開校140周年記念事業 (全校集合写真・記念バザー・ 記念集会・記念誌作成)
47年	新校舎完成、落成式挙 開校100周年記念式典挙 記念公開研究会開催、 記念事業協賛会より中庭造成寄贈	27年	全国書道コンクール団体優勝 (15年連続26回目)
52年	学校基本調査について文部大臣表彰		全国学生書道展覧会団体優勝 (21年連続31回目)
53年	学校の教育目標改訂		電子黒板・書画カメラ設置
57年	創立110周年記念式典挙 PTA記念事業により遊具施設設置	28年	当教研学校課題研究発表会 弁華別小学校閉校により本校に統合
58年	石狩地区小学校放送教育研究指定校		
59年	石狩管内教育実践表彰受賞		
63年	石狩地区小中学校放送教育研究大会開催 「ことばの教室」1学級認可		

教育目標

一人一人の子どもを大事にし、大事にされ合う人間関係の中で、平和で幸福な社会の担い手として、小中9年間を見通した心身の調和のとれた人間性豊かな子どもを育てる。

- ◇ 知性をみがく子ども (よく考える子ども) 〈知〉
- ◇ 心豊かな子ども (心のゆたかな子ども) 〈情〉
- ◇ 意志の強い子ども (さいごまでやりぬく子ども) 〈意〉
- ◇ からだのじょうぶな子ども (強いからだの子ども) 〈体〉

経営の重点	<p>◎知・徳・体の教育活動をバランスよく実施し、総合的に子供たちを伸ばす ○学び方を身に着け、思いやりの心を持った心身ともに健康な子</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ドリカムプロジェクトによる確かな学力の定着・向上（かしこく） ◆ 個々を伸ばし、豊かな人間性・社会性の育成（やさしく） ◆ 健康・体力の増進、安全教育（たくましく） ◆ 信頼される学校・地域とともにある学校づくり 																																													
研究主題	<p>《 重点目標 》 かしこく、やさしく、たくましい 子供の育成 ～学び方を身に着け、思いやりの心を持った心身ともに健康な子～</p> <p>《 研究テーマ 》 『生き生きとした学びを生み、確かな読みの力を育てる指導のあり方』</p>																																													
特色ある教育活動	<p>1 確かな学力の定着・向上の取組 「基礎学力」と「続ける力」を育てるドリカムプロジェクトにより、絶対に身に付けさせる基礎学力を明確化し、全学級で共通した取組を行う。</p> <p>2 小中9年間を見通した小中一貫教育の取組 小中で目指す児童生徒像の共有化を図りながら、9年間を見通した指導計画の作成、小中合同研修会の開催、乗り入れ授業等の取組を行う。</p> <p>3 読書活動の推進 朝読書（全校一斉）をはじめ、読み聞かせ・読み語りのボランティアの協力も得ながら読書に親しませることによって、豊かな心を育て、確かな学力の基盤を整える。</p> <p>4 書道教育の推進 週1回の朝書道では、筆ペンや硬筆で名前や名文を練習する。また、毎月「書道の週間」を設け、全校一斉に書道に親しむ活動を行う。</p>																																													
学級編制	<p style="text-align: right;">平成29年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>28</td> <td>23</td> <td>31</td> <td>34</td> <td>6</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>19</td> <td>31</td> <td>29</td> <td>23</td> <td>37</td> <td>32</td> <td>1</td> <td>172</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>39</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>46</td> <td>68</td> <td>66</td> <td>7</td> <td>339</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	2	2	4	16	男子	20	25	28	23	31	34	6	167	女子	19	31	29	23	37	32	1	172	合計	39	56	57	46	68	66	7	339
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計																																						
学級数	2	2	2	2	2	2	4	16																																						
男子	20	25	28	23	31	34	6	167																																						
女子	19	31	29	23	37	32	1	172																																						
合計	39	56	57	46	68	66	7	339																																						
教職員	<p style="text-align: right;">平成29年5月1日現在</p> <p>校長 西野典男</p> <p>教頭 関口 涼</p> <p>教職員数 教諭 22名 養護教諭 1名 栄養教諭 1名 事務職員 2名 非常勤講師 1名 特別支援学級介助員 1名 特別支援教育支援員 1名</p>																																													

西 当 別 小 学 校 (中学校併設型小学校)

校章・所在地



〒061-3776
 北海道石狩郡当別町太美町 1481 番地
 電話：0133-26-2170 FAX：0133-26-2813

【校章の意味】

雪のように清らかに、鏡のように曇りなき心身の発達成長への願いを表す。

校歌

<p style="text-align: center;">三 夕雲遠く しずまりて 阿蘇岩山に あかねさす われらはのぞみ もやしあい 育つよ育つ すこやかに 西当別の小学校</p>	<p style="text-align: center;">二 緑の原を つらぬきて 石狩川の 水清し われらはともに 手を結び 進むよ進む ひとすじに 西当別の小学校</p>	<p style="text-align: center;">一 青き手稲の かがやけば 豊かなる野に 風かおる われらはあした 集い来て 学ぶよ学ぶ さわやかに 西当別の小学校</p> <p style="text-align: right;">作詞 坂本 作曲 津田 甫亮</p>
---	---	--

沿革の概要

- | | | | |
|-------|--|-------|---|
| 昭和26年 | 獅子内小学校・太美小学校が合併し
西当別小学校設立
新校舎落成・移転
校章制定 | 平成14年 | 視聴覚室改修 |
| | | 15年 | 児童図書管理コンピューター化 |
| | | 16年 | ハマナス50本植樹
(朝日新聞社より寄贈) |
| 27年 | 西当別小学校校歌制定 | 18年 | 文部科学省指定の「小中連携事業」
開始(2か年) |
| 32年 | 校舎増築、屋内体育館完成 | 19年 | 国際理解教育開始(ALTとの学習)
JICA 研修員学校訪問(アフリカ諸国より) |
| 36年 | 開校10周年記念式挙行 | 22年 | 当別町青少年善行賞受賞
(リングブル・エコキャップ収集) |
| 46年 | 開校20周年記念式挙行 | | 当別町140年記念パレード見学、
記念式典参加(5年生) |
| 48年 | 増築校舎完成(理科室・準備室、視聴覚室、
放送室、保健室) | 23年 | 大崎市へ震災復興激励の横断幕の送付 |
| 50年 | 北海道小中学校放送教育研究大会開催 | 24年 | JR 電化祝賀式典参加 |
| 56年 | 開校30周年記念式・祝賀会 | 26年 | 西当別地区プレイハウスが西当別
小学校内へ移転 |
| 57年 | 新校舎完成(普通教室4・音楽室・理科室) | 27年 | 電子黒板・書画カメラ設置 |
| 58年 | 新体育館落成式・祝賀会 | 28年 | 小中一貫教育推進教師配置
(西当別中学校と兼務) |
| 62年 | 開校記念日指定・祝賀会 | | JICA 研修員学校訪問(アフリカ諸国より)
レクサンド市教育委員会視察団訪問 |
| 平成元年 | グラウンド改修工事 | | |
| 3年 | 高岡小学校本校へ統合 | | |
| 6年 | 増築校舎落成式・祝賀会 | | |
| 7年 | プレハブ校舎4教室完成 | | |
| 8年 | 増築校舎完成式
(普通教室8・音楽室・図工室) | | |
| 9年 | 「たんぼ学級」設置 | | |
| 13年 | 新学校教育目標制定
開校50周年記念式・祝賀会 | | |

教育目標

- | | | | |
|-----------|-------|-------------|-------------|
| ◇ 心ゆさぶる感性 | 〈心〉 | ・のびのび語り合う子 | |
| ◇ 学び求める知性 | 〈学び〉 | ・ぐんぐん学び合う子 | |
| ◇ 生き方がく個性 | 〈生き方〉 | ・もりもりきたえ合う子 | [平成13年3月改定] |

経営の重点	<ul style="list-style-type: none"> ◆確かな学びづくり 基礎・基本的事項の確実な習得を徹底した学力の向上 ◆豊かな心づくり 「挨拶」を起点とした心の教育の充実 ◆健やかな体づくり 体力の向上と健康安全教育の推進 ◆保護者・地域との連携を深めたコミュニティースクールづくり ◆小中一貫教育の本格的な推進 																																													
研究主題	<p>《 重点目標 》 「進んで学び、高め合う、心豊かでたくましい児童の育成」</p> <p>《 研究主題 》 「自らの考えを深め、表現できる子どもの育成」 ～算数科における学習過程の工夫の実践～</p>																																													
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎・基本を大切に確かな学力を身につける学習指導 <ul style="list-style-type: none"> ・1～3年は国語と算数、3～6年は算数の時間にTT・習熟度別少人数指導を実施 ・全校一斉に毎朝「朝読書」「ドリルタイム」に取り組む ・学生ボランティアSATを活用した授業の実施 ・小中一貫教育推進教師の活用（算数、理科、英語） 2 地域の人材を活用した学習支援活動（ときめきバンク・学校支援地域本部事業ボランティア） <ul style="list-style-type: none"> ・様々な教科や特別活動、総合学習の時間などに「ときめきバンク」（人材バンク）に登録している人材の活用 3 NPOと取り組む環境教育 <ul style="list-style-type: none"> ・NPOの協力を得て、環境教育に積極的に取り組む（5年「道民の森」での学習など） 4 活発に行われる読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ・全校一斉の「朝の読書」、11月の読書月間、地域ボランティアによる本の読み聞かせなど、読書活動を通して豊かな心を養い、国語力向上を目指した取り組み 5 生き生きと展開する児童会活動 <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心を育て、児童相互のふれあいを大切にした「ふれあい集会」 ・リングプル回収運動による福祉施設への車いす寄贈、児童会が主体的に計画運営する「西小タイム」、西当別中と連携した環境活動「クリーン作戦」 6 基本的な生活習慣や子どもの生きる力を育てる幼保小中連携事業の充実・発展 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所園児の学校体験会、1年生との交流活動 ・6年生の中学校訪問、授業体験 ・小中合同クリーン作戦、芸術鑑賞会、いじめ集会など合同行事の開催 																																													
学級編制	<p style="text-align: right;">平成29年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>11</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>19</td> <td>5</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>21</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>14</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>0</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>32</td> <td>48</td> <td>47</td> <td>40</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>5</td> <td>260</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計	学級数	1	2	2	1	2	2	2	12	男子	11	24	23	26	24	19	5	132	女子	21	24	24	14	20	25	0	128	合計	32	48	47	40	44	44	5	260
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計																																						
学級数	1	2	2	1	2	2	2	12																																						
男子	11	24	23	26	24	19	5	132																																						
女子	21	24	24	14	20	25	0	128																																						
合計	32	48	47	40	44	44	5	260																																						
教職員	<p style="text-align: right;">平成29年5月1日現在</p> <p>校長 難波 雅 弘 教頭 山 谷 潤</p> <p>教職員数 教諭 14名 養護教諭 1名 事務職員 1名 一貫教育推進講師 1名 特別支援学級介助員 1名 特別支援教育支援員 1名</p>																																													

当 別 中 学 校 (小学校併設型中学校)

校章・所在地



〒061-0205
 北海道石狩郡当別町下川町 125 番地
 電話：0133-23-2158 FAX：0133-23-2956

【校章の意味】

当の大文字で囲み、全体を雪の結晶とし、たくましく生きる力を表す。

校歌

<p style="text-align: center;">三</p> <p>開拓の祖 遠くして 愛と真の 血を伝う 男子女子 手を執りて 結ぶ友垣 誇りあり 吾ら讃えん ああ我が郷土</p>	<p style="text-align: center;">二</p> <p>白雪映える 阿蘇岩の 高嶺に想う あげくれば 真理きわめて らんまんの 花咲かせてん 念願あり 文化の殿堂 ああ我が学舎</p>	<p style="text-align: center;">一</p> <p>緑風匂う 石狩の 愛の園生に 生い立ちて 光あたらしき 日の本の 使命に生きん 祈りあり 平和の先駆 ああ我が学友</p> <p style="text-align: right;">作詞 井上 治雄 作曲 藤 定一</p>
---	--	---

沿革の概要

<p>昭和 22年 当別村立当別中学校が開校 校章制定 25年 校歌制定 独立校舎に移転（旧競馬場跡） 27年 中小屋分校が独立 30年 三番川、四番川分校が本校の分校になる 32年 同窓会発足 開校10周年記念式典 33年 三番川、四番川分校が独立 36年 当別川が氾濫し校舎床上浸水 41年 ときわ学級開設（特殊学級） 42年 開校20周年合同記念式典 44年 牛乳給食開始 新校舎完成竣工・移転完了 48年 スクールバス運行開始 52年 開校30周年記念式典 58年 校舎改築工事 平成 4年 石狩管内教育実践奨励賞受賞 8年 学校給食開始</p>	<p>平成 9年 スクールカウンセラー配置 15年 当別中学校開校50周年記念式典 第3回東日本学校 吹奏楽コンクール金賞（C編成） 17年 除雪ボランティア善行顕彰を受賞 19年 石教研学校課題研究発表 20年 剣道部女子全道大会出場 21年 相撲部全道大会準優勝、 剣道部女子全道大会出場 22年 相撲部全道大会準優勝 当別町140年記念パレード、 記念式典参加 23年 校舎・体育館耐震化工事完了 バックネットの改修工事完了 24年 JR学園都市線電化開業記念イベント参加 25年 東生徒トイレ改修 26年 西生徒トイレ改修 27年 電子黒板・書画カメラ設置 28年 弁華別中学校閉校により本校に統合</p>
---	---

教育目標

- ◇ 真剣に学び 自己を高めよう
- ◇ 協力しあい 責任ある行動をとろう
- ◇ 自ら実行し 最後までやりぬこう
- ◇ 美しいものに感動できる豊かな心をもとう
- ◇ 身体を鍛え たくましくなろう

精 神
 「優しく 強く」

<p>経営の重点</p>	<p>【主体性を育み、生徒個々に応じた確かな学力の定着】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 基礎・基本の習得と活用力を図るための授業の工夫・改善 ◆ 自ら考え、自分から進んで取り組むなど、主体的・意欲的な授業参加 ◆ 生徒一人ひとりの学習状況を的確に捉え、個に応じたきめ細かな指導の充実 ◆ 学習の定着を図るため、自ら課題を設定し、学年に応じた家庭学習の習慣化 ◆ 小中一貫の考えに立って、9年間を見通した教育の充実 <p>【自主・自立の育成を図り、心身ともに健康で心豊かに生きる力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 挨拶、言葉遣い、マナーなど、基本的な生活習慣の徹底、自己指導能力の育成 ◆ 道徳指導の充実、内面に迫る道徳性を育てた思いやりと感謝の心の育成 ◆ 自己有用感、自己肯定感を高めることによる不登校未然防止・早期解決 ◆ 児童会との連携、体験活動・ボランティア活動の充実と地域発進力の強化 ◆ 体育的行事や部活動活性化促進、目標に向かって取り組む強い意志と体力の育成 ◆ 小中連携を図りながら、教育活動全般に渡るリーダーの育成 																														
<p>研究主題</p>	<p>《 学校課題 》 学び合い、認め合い、高め合う心豊かな生徒の育成</p> <p>《 研究主題 》 「一人ひとりに確かな学力を育む指導の工夫」 ～基礎・基本の定着と学習習慣の確立を目指して～</p>																														
<p>特色ある教育活動</p>	<p>(1) 数学、理科、英語でT T・少人数学習・習熟度別授業を実施</p> <p>(2) 全校的に日常の朝自習、週末課題への取り組み、放課後学習会、補習の実施</p> <p>(3) 総合的な学習の時間では「生き方を求めて」を共通テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生 ～ 農業体験（ジャガイモの栽培） ○ 2年生 ～ 職場体験学習（2日間） ○ 3年生 ～ 当別を知る <p>(4) 体育ではスキー学習、武道等で地域の特性を生かした授業の実施</p> <p>(5) 部活動については体育系7部、文化系3部</p> <p>(6) 町内の各種催事で吹奏楽部が演奏</p> <p>(7) 小中一貫教育（小学校登校等）、コミュニティースクール</p>																														
<p>学級編制</p>	<p style="text-align: right;">平成29年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>36</td> <td>35</td> <td>49</td> <td>7</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>31</td> <td>39</td> <td>36</td> <td>0</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>67</td> <td>74</td> <td>85</td> <td>7</td> <td>233</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	3	2	9	男子	36	35	49	7	127	女子	31	39	36	0	106	合計	67	74	85	7	233
学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計																										
学級数	2	2	3	2	9																										
男子	36	35	49	7	127																										
女子	31	39	36	0	106																										
合計	67	74	85	7	233																										
<p>教職員</p>	<p style="text-align: right;">平成29年5月1日現在</p> <p>校長 武岡 則夫 教頭 小森 享</p> <p>教職員数 教諭 17名 養護教諭 1名 事務職員 2名 非常勤講師 1名 一貫教育推進講師 1名 特別支援教育支援員 2名</p>																														

西 当 別 中 学 校 (小学校併設型中学校)

校章・所在地



〒061-3772

北海道石狩郡当別町獅子内 5134 番地 1

電話：0133-26-2252 FAX：0133-26-2412

【校章の意味】

六角形の雪の結晶に、西当の文字を図案化し、中の字の周りに配する。

校歌

<p>四 大いなる 恵の朝 われら今 光を受けて 踏み分けん 真の長道 西当別 われらのふるさと</p>	<p>三 涼風は 垂穂にそよぎ 行く水は 広野うるほす 豊けしや みのりの里わ 西当別 われらのふるさと</p>	<p>二 緑なす 森の梢に 先人の 功徳びつ 集い合う 若人われら 西当別 われらのふるさと</p>	<p>一 石狩の 潮騒遠く 夕映えの 広がるほとり 厳かしく 立てる学び舎 西当別 われらのふるさと</p>
<p>作詞・作曲 倉島 繁</p>			

沿革の概要

<p>昭和 22年 23年 25年 26年 31年 32年 38年 42年 43年 46年 49年 51年 52年 54年 56年 57年 平成 4年 8年 9年 11年 12年</p>	<p>獅子内小に併置開校 当別町制施行町立に 校章制定、独立校舎落成 高岡分校設置 旧校歌制定 体育館落成 開校10周年式典 高岡分校独立 開校20周年式典 高岡中学校統合 町プール校地に設置 スクールバス運行 石狩管内教育実践奨励賞受賞 開校30周年式典 体育館落成 新校舎落成記念式典 校舎落成記念植樹 グラウンド完成 学校週5日制開始 学校給食完全実施、事務補配置 全国スキー大会回転優勝(豊島堅太) 開校50周年式典・スウェーデン訪問 全道剣道大会3位(菊池麻耶) 増築校舎完成 町P連研究大会(本校PTA主管)</p>	<p>平成 13年 14年 15年 16年 17年 18年 19年 20年 21年 22年 23年 25年 26年 27年 29年</p>	<p>特殊学級設置・10学級編制 全道新体操準優勝(岩倉 歩) 全道陸上砲丸投げ3位(山本竜太) 110mH 3位(寺尾瑞基) 全道新体操優勝(岩倉 歩) 全道水泳 50m自由形3位、100m自由形 2位(太田千晶) 全国新体操準優勝(岩倉 歩) 全道ソフトボール大会3位 新教育目標設定 全道ソフトボール大会3位 18・19年度国立教育政策研究所委嘱 事業 小中連携教育実践研究指定校 当別町学校教育研究推進協議会学校 研究発表会 道「青少年の主張」大会優秀賞(萩原有希) 石狩管内教育実践奨励賞受賞 モンゴル国教育視察団訪問 ESD 日米教員交流団来校 当別町学校教育研究推進協議会学校 研究発表会 体育館大規模改修工事 旧校舎給水管改修工事 校務用生徒用パソコン更新 電子黒板・書画カメラ設置 開校70周年</p>
---	--	---	--

教育目標

ここ西当別の大地で、
◇ 高い知性 (知)
◇ 強い意志 (徳)
◇ 健やかな体 (体)
を求め、自らの進路を切り拓こう

[平成17年2月制定]

<p>経営の重点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実践力豊かな信頼される学校づくりの推進 ◆ 生徒の生きる力と自己実現を図る教育の推進 ◆ 基礎基本の確実な習得と自ら考え判断し表現する力を育む教育の推進 ◆ 豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進 ◆ 共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進 ◆ 時代の要請や今日的な教育課題を踏まえ、新たな可能性を創造する教育の推進 ◆ 家庭、地域と連携し、地域と共に歩む教育の推進 ◆ 学校いじめ防止基本方針に基づく教育の推進 ◆ 小中一貫教育基本方針に基づく教育の推進 																														
<p>研究主題</p>	<p>《 学校課題 》 知・徳・体”をバランスよく備えた15歳の生徒像の実現</p> <p>《 研究主題 》 「学習規律」を通して教職員の生徒に対する関わり方を「見える化」する ～ 学習規律の一貫性を図りながら ～</p>																														
<p>特色ある教育活動</p>	<p>①朝読書 全学年年間を通した朝読書の実施</p> <p>②生徒会活動 ピアサポート（支え助け合う仲間づくり）の実践、ボランティア（校区内小中合同クリーン作戦・老人ホーム訪問・花壇整備地域清掃・小中合同いじめ撲滅集会など）活動の充実</p> <p>③小中一貫教育 学校行事・部活動・児童生徒会の交流事業・小中交流会・新入生説明会乗り入れ授業・合同研修など</p>																														
<p>学級編制</p>	<p style="text-align: right;">平成29年5月1日現在</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>31</td> <td>27</td> <td>25</td> <td>2</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>19</td> <td>27</td> <td>22</td> <td>1</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>50</td> <td>54</td> <td>47</td> <td>3</td> <td>154</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	8	男子	31	27	25	2	85	女子	19	27	22	1	69	合計	50	54	47	3	154
学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計																										
学級数	2	2	2	2	8																										
男子	31	27	25	2	85																										
女子	19	27	22	1	69																										
合計	50	54	47	3	154																										
<p>教職員</p>	<p style="text-align: right;">平成29年5月1日現在</p> <p>校長 菅原裕行</p> <p>教頭 寺嶋裕介</p> <p>教職員数 教諭15名 養護教諭1名 事務職員1名 非常勤講師3名 一貫教育推進講師1名 特別支援教育支援員2名</p>																														

➤ 2 平成29年度当別町学力向上プラン

1 めざす人間像

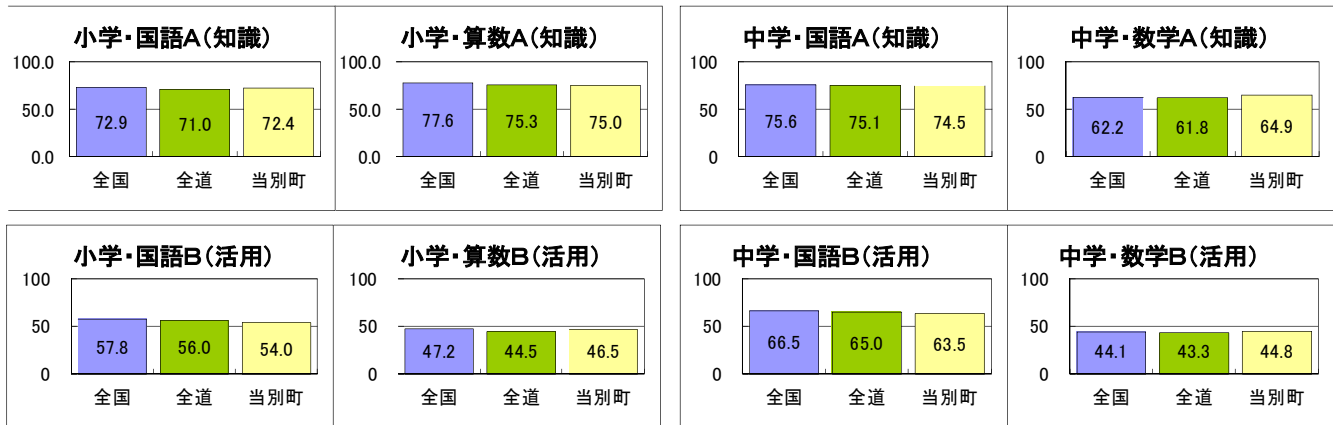
～ 社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人 ～

2 基本方針

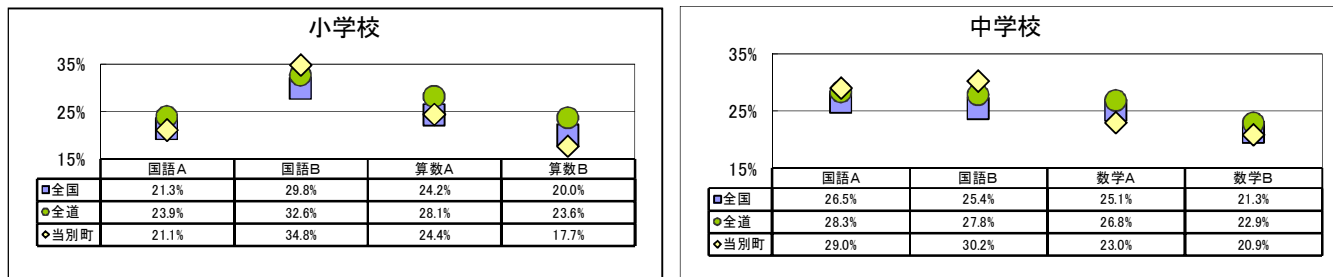
～ 子どもの発達や学びの連続性を踏まえた一貫教育の推進 ～

3 当別の児童生徒たちの現状—平成28年度全国学力・学習状況調査より

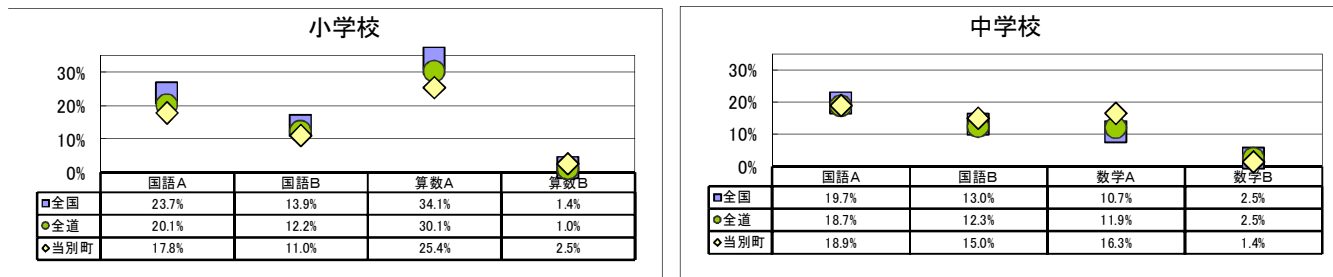
(1) 教科平均正答率による比較



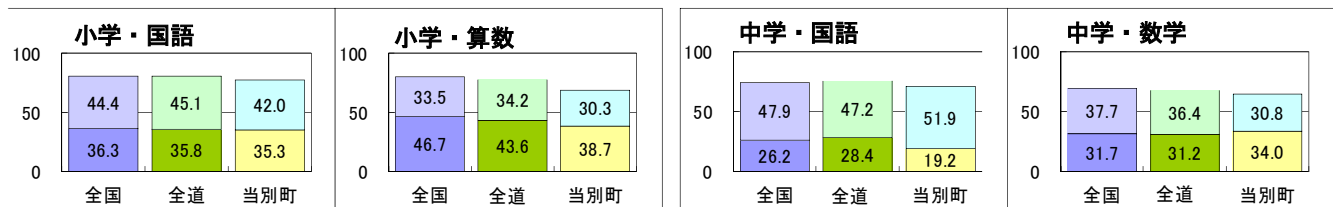
(2) 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童・生徒の割合



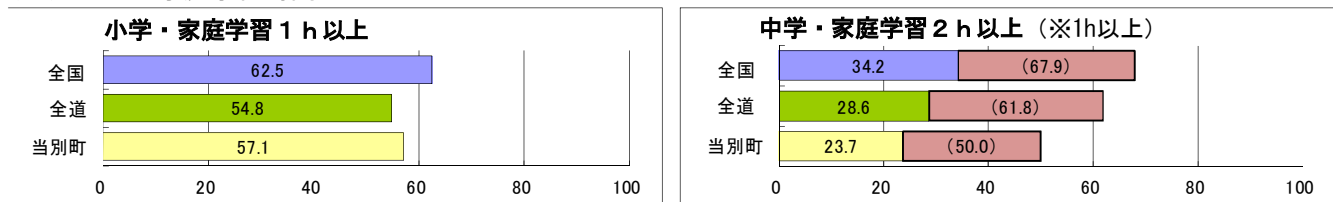
(3) 正答率が90%以上の児童・生徒の割合



(4) 授業の理解度について (下段: よくわかる・上段: どちらかといえばわかる)



(5) 平日の家庭学習時間について



※小学校は、27年度の67.7%から減少している。

※中学校は、27年度の23.1%から少し向上した。

4 学力面の課題

(1) 小学校

- ①平均正答率では国語、算数共に、全国平均と若干の差は見られるが、ほぼ同程度。
- ②下位層(全国約25%)に占める割合は国語Bで全国より多く、算数Bでは全国より少ない。
- ③正答率が90%以上の児童の割合が、算数B以外、全国平均を下回っている。

(2) 中学校

- ①平均正答率では、国語が全国との差はわずかであった。数学では全国平均を上回った。
- ②下位層(全国約25%)に占める割合は国語A・Bで全国より多く、算数A・Bで全国より少ない。
- ③正答率が90%以上の生徒の割合が、国語B、数学Aで全国より大きく上回った。

5 質問紙調査にみる課題

- ①小学校では、TVやDVD視聴の時間は平成27年度より増加し、スマートフォンやインターネット使用時間も増加している。いずれも全国より多い。中学生ではTVやDVD視聴の時間は平成27年度より減少し、全国より少ない。しかし、スマートフォンやインターネット使用時間は、全国より増加し、平成27年度よりも増加している。
- ②平日、家庭での学習時間は、小学生で「1時間以上」と答えた児童は、全国を5.4ポイント下回り、中学校で「2時間以上」と答えた生徒も、全国より10.5ポイント下回っている。中学生の「1時間以上」は小学校と比較しても低いことが課題としてある。
- ③小学生は、平成27年度と同様、「朝食を食べてない・あまり食べていない」と答えた児童の割合が高い。就寝時刻も平成25年度調査より遅くなっている。中学生は「食べている」、「どちらかといえば食べている」と回答した生徒の割合が全国より2.2ポイント多いものの、平成27年度に比べて2.4ポイント減少している。就寝・起床時間や朝食摂取の基本的な生活習慣の乱れがみられる。
- ④「読書が好き」と答えた割合は、小学生で45.4%で全国平均より少なく、平成27年度より7.8ポイント減少している。中学生では50.0%で全国平均より高い結果になり、平成27年度よりも大幅に増加した。

6 教育委員会の重点目標と具体的な取組

● 学校全体で取組む「確かな学力」の育成

- (1)一貫教育推進と教育課程実施に対する支援・指導
- (2)各校学力改善プランへの指導・助言
- (3)小学校英語教育・道徳教育への支援
- (4)学校教育と社会教育の連携による児童生徒支援
- (5)放課後・土曜学習の実施
- (6)一貫教育推進講師及び特別支援教育支援員の増員
- (7)小学校へのデジタル教科書配備(中学校については平成28年度に配備済)

● 教員の資質向上

- (1)主催事業「教員研修」の開催
- (2)校内研修の実施
- (3)町内教育研究団体への支援

7 学校の取組

①自校の教育課題解決のための教育課程の適切な編成・実施・評価・改善の取組

③成長のステップを押さえ系統立てた学力向上のための小中一貫の各種取り組みの実行と評価・改善

⑤積極的な情報提供と、家庭学習や安全確保など保護者・地域との協働、連携、コミュニティ・スクール導入による取組の拡充

②「学校改善プラン」に基づく課題・具体策の教職員間での共通理解、IT指導や習熟度別学習の実行・評価・改善

④授業力向上を目指した「校内研修ICT活用、板書・ノート指導、学習規律等」や「OJT」の充実

⑥道徳の時間を機軸とした明確な指導観をもった、豊かな心を育む教育の推進

8 平成29年度の目標

- (1)全国学力・学習状況調査において、全教科の平均正答率を全国平均以上へ引き上げる。(北海道共通課題)
- (2)NRT/CRT検査での小中一貫した経年分析結果を活用した授業改善の取組推進。
- (3)全国学力・学習状況調査において、下位層の割合を全国平均以下にする。
- (4)授業の内容が「わかる、良くわかる」と答える児童生徒の割合を100%になるよう、授業の工夫改善や、ICT機器を活用した効率の良い授業の推進及び実践を行う。
- (5)家庭学習の時間を、小学生で「毎日10分×学年数+10分」、中学生で「毎日2時間以上」を目途とし、「まったくしない」児童生徒を無くすことを目指した、各校の組織的な取組を行う。

9 家庭との連携

- (1)今年度の重点として、教育委員会作成の「家庭教育の手引き」より、以下の3点の実践を促す。

(学校だよりや学級通信等へ掲載)

①「早寝・早起き・朝ごはん」により、リズムある生活を送らせよう。

②家庭学習時間を確保し、毎日勉強させよう。

③読書時間を確保し、本に親しみ、本から学ばせよう。(毎月23日「とうべつ家読の日」の活用)

- (2)小中一貫した各学校独自の「生活リズムチェックシート・家庭学習の進め方」等の取り組みを通して家庭教育を支援する。

- (3)コミュニティスクールの実施、学校だより、学年通信、学級だより、ホームページ等により、児童生徒理解・学校理解に努め、保護者・地域との連携を推進する。

➤ 3 小中一貫教育

町では、平成27年3月に「当別町小中一貫教育に関する取組基本方針」を策定しました。

この基本方針は、当別町第4次生涯学習基本計画で検討すべきとされた一体型による一貫教育を基本としつつ、一体型一貫校設置の過程において、当分の間、現在設置されている小学校と中学校の連携のもとで、義務教育9年間を見通した系統的で継続性のある一貫した教育を実現しようとするものです。

※「当別町小中一貫教育に関する取組基本方針」の詳細は、当別町教育委員会のホームページに公開しています。(アドレス：<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/site/kyoiku-top/>)

◀ 小中一貫教育基本方針 ▶ [平成27年3月策定]

1 当別町で進める小中一貫教育の目的

- 「発達段階を考慮し、義務教育9年間を見通した教育課程の構築」と「小・中学校教員それぞれが、義務教育9年間で児童生徒を育てる」という考えの下、小中一貫教育を実践していくことで、それぞれの学校での指導の効果を高め、社会で自立して生きていく上で必要な学力や体力、望ましい生活習慣や規範意識を確実に身に付けさせる
- 家庭や地域と連携して、組織的・継続的な学校支援体制をつくることで、「家庭」、「地域」、さらに「学校」の教育力を高め、地域全体で子どもたちの9年間の学びを支えるまちづくりを実践する

2 当別町小中一貫教育でめざす方向性

一貫教育でめざす人間像

社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人

一貫教育でめざす学校像

- (1) 上位の学校へのスムーズな移行や、ずれや逆転のないスムーズな学年移行が可能となる教育を行う学校
- (2) その学年で付けるべき力を全員に付けさせることができる学校
- (3) 地域や保護者の思いが生かされ共に歩める学校
- (4) 魅力が体感できる教育環境の下、先進的な取組を進める学校

一貫教育でめざす地域像

- (1) 学校がまちづくりの核である地域
- (2) 家庭教育や学校教育を支援し、共に育む環境のある地域
- (3) 子どもたちと人々の心温まるふれあいのある地域
- (4) 地域の誇りや愛着の心を子どもたちに伝えていく地域

一貫教育でめざす児童生徒像

- (1) 基礎基本と発展的学力、自ら学ぶ意欲
- (2) 豊かな人間性
- (3) 健全な心身
- (4) コミュニケーション能力
- (5) プレゼンテーション能力
- (6) 当別が好きな子ども

3 当別町で進める小中一貫教育の概要

- (1) 全小学校・中学校での小中一貫教育の実施（目標の設定）
- (2) 義務教育9年間を連続した教育課程の編成（教育課程の編成）
- (3) 地域の特色を活かした教科の導入（当別学の創設・国際教育の推進）
- (4) 児童生徒や教職員の交流（教科担任制導入や習熟度別学習と教職員の意識改革）
- (5) 発達段階に応じた学年区分による指導
- (6) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
- (7) 適正な学校規模の維持と良好な教育環境の確保（老朽化した施設の改善・児童生徒数の減少への対応）

4 当別町の施設形態

当初は、現在の中学校区にあわせ、2校の義務教育学校の設置を想定し、平成29年度から2校4校舎（小学校併設型中学校、中学校併設型小学校）での取り組みを進めていきます。また、なるべく早い時期に、より教育効果が得られる施設一体型の一貫教育に移行します。

5 推進体制

一貫教育を推進していくため、学識経験者、学校関係者、保護者・地域の代表、公募による町民の代表、教育委員会事務局などで構成する組織を設置します。

《 小中一貫教育の取組 》

教育委員会では、平成26年度から小中一貫教育導入に向けた研究を開始し、北海道教育委員会指定事業「小中連携、一貫教育実践事業（H26～H28）」や、文部科学省委託事業「小中一貫教育推進事業（H27～H29）」に取り組み、先進地視察や教職員研修、教育講演会、小学校第6学年の中学校登校等を実施しています。

【平成28年度の主な取組】

○ 小中一貫教育推進講師（非常勤）の配置

平成28年度から、町費で小中一貫教育推進講師を各中学校区に1名配置しています。

（主な取組）

- ① 町立小学校・中学校の児童・生徒に対する教科の指導及び補助
- ② 教材研究及び打合せ
- ③ 小中一貫教育の推進に関わり、校長が特に必要と認めた業務



小中一貫教育推進講師

○ 小中一貫教育懇談会の開催

平成27年3月に策定した「当別町小中一貫教育推進の基本方針」を踏まえ、本町における小中一貫教育の実施に向けた方策について検討を行い、一貫教育のさらなる充実を図るため、当別町小中一貫教育懇談会を開催しています。



カリキュラム部会のようす

○ 独自教科「当別みらい学」カリキュラムの研究

「目指す子ども像」の実現を図るとともに、小・中学校が一貫して、地域の教育資源を十分に活用し、特色ある教育の推進を図るため、小中一貫教育懇談会に各小・中学校の教頭・教務主任、教育委員会職員等で構成された「カリキュラム部会」を設置し、全体計画を作成しました。

○ 地域とともにある学校づくりの推進に向けた取り組み

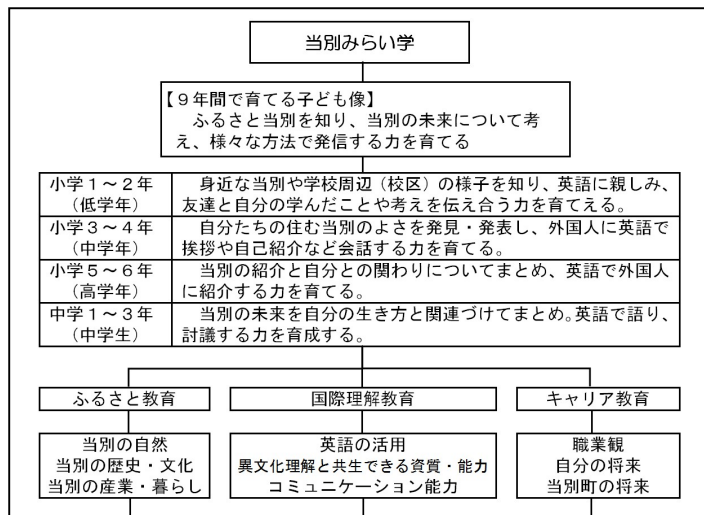
学校、家庭、地域が一体となって小中一貫教育を推進するため、「コミュニティ・スクール」の導入に向け、教職員研修や教育講演会を実施しました。



保護者説明会のようす

○ 保護者説明会の実施

平成29年度からスタートする当別町の小中一貫教育について、保護者の理解を得るため、中学校区ごとに開催しました。



「当別みらい学」全体計画（一部抜粋）



保護者向けリーフレット

【平成29年度の主な取組】

○ 小中一貫教育推進講師（非常勤）の増員

平成28年度から町費で配置している小中一貫教育推進講師を1名ずつ増員し、各中学校区2名体制で児童生徒の指導の充実を図っています。

○ 小中一貫教育懇談会の開催

本町における小中一貫教育のさらなる充実を図るため、継続的に当別町小中一貫教育懇談会を開催します。

○ コミュニティ・スクールの導入

「学校運営協議会」による地域とともにある学校づくりを推進するため、中学校区ごとに「コミュニティ・スクール準備委員会」を設置し、組織作りや活動内容などについて協議を行います。
※「学校運営協議会」は10月を目途に設置予定。

○ 児童生徒交流等の推進

中学校生活への不安軽減や中学校教員による専門的な指導に触れることを目的に、小学校第6学年の中学校登校や中学校教員による出前授業、小中合同芸術鑑賞事業等、各種取組を実施します。



【過去の小中連携・一貫教育の取組】

- 中1ギャップ問題未然防止事業（H22-24 道教委指定事業）
指定校 当別小学校・当別中学校
内容 当別町立当別中学校区における中1ギャップ解消プラン
- 小・中連携教育実践研究事業（H18-19 国立教育政策研究所受託事業）
実施校 西当別小学校・西当別中学校
研究課題 生徒指導に関する改善
～9年間を見通した一貫した生徒指導の工夫改善～

➤ 4 学校給食

1 学校給食の役割

学校給食は、栄養バランスのとれた食事の提供だけでなく、正しい食習慣・食文化を伝え、児童生徒一人一人が「自分の健康を考え、食事を選ぶ能力」を身につける大切な学びの場です。

- 栄養バランスのとれた豊かな学校給食
- 望ましい食習慣を形成する学校給食
- 人間関係を豊かにする学校給食
- 自然の恵みや感謝の心を育てる学校給食

2 施設概要

区分	概要
名称	当別町学校給食センター
所在地	石狩郡当別町若葉2224番地
敷地面積	3,625.00 m ² (1,096.56 坪)
建物面積	1,098.12 m ² (332.18 坪)
構造	鉄筋・鉄骨コンクリート造 一部2階建
調理場区分	共同調理場
厨房方式	ドライシステム
調理能力	最大 3,000 食/日
廃水処理	回転円板方式
厨芥処理	有機廃棄物処理方式
建設事業費	830,386 千円
実施状況	1,081 食 (平成29年5月1日現在)

○ 運営 ~ 民間会社へ調理・配送・配膳業務を委託

3 給食費の状況

区分	実施回数 (回)	一食単価 (円)	年額 (円)
小学校	1年	177 ~ 180	44,079 ~ 46,065
	2年	185	
	3年	185	47,175
	4年	185	
	5年	185	48,285
	6年	185	
中学校	1年	182 ~ 185	55,792 ~ 58,645
	2年	178 ~ 182	
	3年	176	

4 学校給食センター運営委員会

学校給食センター運営委員会は、教育委員会の諮問機関として11名の委員で構成されており、給食センターの運営に関わる基本的事項について審議しています。

[構成] 教職員5名、保護者3名、学識経験者3名 ※委員任期 2年

➤ 5 保護者支援制度（学校教育）

1 就学援助

経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、その就学に必要な援助を行う。

内訳（平成29年度支給額）※今後、変更となる場合があります。

（単位：円）

区分		小学校	中学校	支給内訳
新入学児童生徒 学用品費等	1年	40,600	47,400	小学校又は中学校に入学する者が通常必要とする学用品及び通学用品
学用品費(学) 通学用品費(通) 校外活動費(校)	1年	(学) 11,420	(学) 22,320	各教科及び特別活動の学習に必要なとされる学用品(実験、実習教材費を含む)、通学用靴、雨傘等の通学用品に係わる経費及び校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科
	2年	(学) 11,420 (通) 2,230 (校) 実費	(学) 22,320	
	3年		(通) 2,230	
	4年		(校) 実費	
	5年			
6年				
体育実技用具費 小1・4年、中1年のみ	スキー	26,020	37,340	体育授業の参加に必要な体育実技用具(スキー、柔道)
	武道用具		7,510	
修学旅行費		実費	実費	小学校及び中学校で、それぞれ1回参加する修学旅行に直接必要な交通費、宿泊費、見学科などの経費
生徒会費			実費	生徒会費として負担すべき経費
P T A会費		実費	実費	P T A活動に要する費用として負担すべき経費
学校給食費		実費	実費	学校給食に要する食費の全額
医療費		実費	実費	感染症又は学校病にかかり、学校から治療の指示を受けたとき、その疾病のための医療に要する費用 学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び膿痂疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫(虫卵保有を含む)をいう。

就学援助の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
小学校	対象人数		121	117	127
	援助総額		7,872	7,843	8,882
中学校	対象人数		94	78	77
	援助総額		10,412	8,124	8,747
計	対象人数		215	195	204
	援助総額		18,284	15,967	17,629

2 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給する。

内訳（平成28年度上限額）※今後、変更となる場合があります。

（単位：円）

区分		小学校	中学校
新入学児童生徒 学用品・通学用品購入費	1年	10,235	11,775
学用品・通学用品購入費		5,710	11,160
体育実技用具費 小1~3年、4~6年、中1~3年の 各期間に1回	スキー	13,010	18,670
	柔道		3,755
	剣道		25,970
校外活動等参加費（宿泊を伴う）		1,785	3,005
校外活動等参加費（宿泊を伴わない）		775	1,120
通学費		実費又は実費の1/2	実費又は実費の1/2
修学旅行費		10,590	28,335
学校給食費		実費の1/2	実費の1/2

特別支援教育就学奨励費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
小学校	対象人数		11	11	7
	支給総額		413	389	225
中学校	対象人数		8	8	7
	支給総額		508	420	343
計	対象人数		19	19	14
	支給総額		921	809	568

3 特別支援学級等通学援助費

小学校及び中学校の特別支援学級・通級指導教室に通学する児童生徒の保護者に対し、その特殊事情にかんがみ、経済的負担を軽減するため、通学費の一部を支給する。

特別支援学級等通学援助費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
小学校	対象人数		42	45	46
	支給総額		234	253	241
中学校	対象人数		11	10	12
	支給総額		66	60	67
計	対象人数		53	55	48
	支給総額		300	313	308

社会教育

- 1 社会教育関係事業
 - 2 社会教育施設
-

➤ 1 社会教育関係事業

1 学校教育との連携事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
わくわくキッズ	5月～11月 (月1回 土曜日)	当別小学校 体育館等	小学生	町内の児童に対し、体験活動を通して安全な居場所づくりを行う。
土曜教室	6月～3月 (年10回)	白樺コミセン 西当別コミセン	小学生	町内の児童に対し、体験的な学習や郷土学習、異年齢交流等の活動を通して、学習する楽しさや成就感を体感させる。
土曜学習会	8月27日 ～2月17日 (年6回)	白樺コミセン 西当別コミセン	中学生	町内の生徒に対し、家庭で行う自発的な学習への取り組みを促進し、基礎学力の向上と学習習慣の定着を図る。
放課後学習会	4月25日 ～3月22日 小学生：年38回 中学生：年27回	各小・中学校	小学生 中学生	町内の児童生徒に対し、放課後の宿題や自主学習のサポートを行い、基礎学力や学習習慣の定着を図る。
当別 KIDS インターナショナル クラブ	6月24日 ～2月10日 (年10回)	白樺コミセン 西当別コミセン等	小学生	町内の児童に対し、様々な国の人と一緒に、楽しくゲーム・ダンス・歌・おしゃべり等を行うことで、英語体験の充実を図る。
こころのふれあい 通学合宿	【第1部】 6月26日 ～7月1日 【第2部】 10月中旬	白樺コミセン 西当別コミセン等	小学 5・6年生	町内の小学校高学年に対し、通学しながら5泊6日(第2部は2泊3日)の集団生活を送ることで、規則正しい生活習慣と自ら考え行動できる力を育む。

2 生涯学習推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
青少年リーダー養成事業	4月～3月	白樺コミセン等	中学1年～高校3年	リーダー研修会の参加や地域行事の手伝いを通じ、青少年リーダーを養成する。
ことぶき大学	5月～3月 (全28講座)	白樺コミセン 各見学・体験 ・交流施設等	60歳以上の町民	体験活動を重視した趣味の講座や、健康や生きがいづくりの講演会、見聞を広める研修視察等を実施する。
親子 de 田植え／稲刈り	5月27日 ／未定	田の沢公園	町内の小学生と保護者	田植え等の作業を共同で行うことで、親子の交流・つどいの場の提供し、家庭の教育力の向上と充実を図る。
当別町－北海道医療大学連携講座	7月～1月 (年6回)	北海道医療大学 キャンパス等	町民	高等教育機関と連携を図り、大学の知的財産を活かした学習機会の提供を進める。
子育てを考える つどい	7月～3月	各小・中学校 地区会館等	P T A等	講演会、懇談会等を開催し、子育てについて考え、効果的に家庭や地域社会の教育力の向上と充実を図る。
当別町小中高大生 TOWN ミーティング	11月～12月	白樺コミセン	町内の小・中・高校生 北海道医療大学生	町内の児童会・生徒会役員等が集い、課題解決方法の学習等を行い、リーダーとしての資質向上等を図る。
少年の意見発表会	2月3日	白樺コミセン	町内の小・中・高生	青少年の自覚と自主性を育て、同世代の青少年の意識啓発と、青少年の健全育成に対する大人の理解関心を深める。
当別町人材バンク	要相談		町民	自らの知識や技能を活かして活動をする人材バンクを活用し、町内活動団体等への紹介やコーディネートを行う。

3 読書活動推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
絵本読み聞かせ会	毎月 第1土曜日 第3金曜日	学習交流センター	乳幼児 保護者	絵本よみきかせ会を通して、子どもたちが絵本やおはなしに親しみ、本に触れる環境を提供していく。
ブックスタート	10ヶ月児 健診時	ゆとろ	10ヶ月児 健診を 受診する 親子	乳幼児期からの絵本の読み聞かせの大切さや方法の理解を深めるため、「ブックスタートパック」を配付する。
ブックセカンド	4月～7月	各小学校	小学1年生	乳幼児期に育まれた読書への興味、関心を引き継ぎ、読書習慣を育て、さらに家族ぐるみで高めていくことを目的とし、新1年生の入学のお祝いとして自分の選んだ本を1冊プレゼントする。
巡回図書	5月～3月 幼保 子育て支援センター (年6回) 小中学校 プレイハウス (年6回)	幼稚園 保育所 ゆとろ 各小・中学校 プレイハウス	幼児 小学生 中学生	子どもの読書活動を充実させるため、町図書室の新規購入図書を幼稚園、保育所、ゆとろ、各小中学校、プレイハウスへ巡回し貸し出しを行う。
子ども出前図書	要相談	各小・中学校	小学生 中学生	学校の要望に応じ、学級文庫用図書などの貸出し協力や学校図書館運営支援を行い、子どもの読書環境を充実させる。
学校図書館訪問支援	毎週指定 曜日・時間	各小・中学校	小学生 中学生	町図書室の司書が学校を訪問し、読書環境の整備及び選書のアドバイス等を行う。
とうべつ家読の日	毎月23日		町民	家読の日を広く周知し、家庭で子どもが本に出会い、本に親しむきっかけをつくる。毎月「家読通信」の発行を行う。

4 生涯スポーツ推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
学校開放事業	4月1日 ～3月31日	各小・中学校 体育館 グラウンド	町民	定期的なスポーツ及びレクリエーション活動の場として、各小・中学校の体育館・グラウンドを開放する。
ニュースポーツ チャレンジ	4月～3月		町民	申し込み団体に講師を派遣し、ニュースポーツの体験、啓発に向けた出前教室を実施する。
小中学生のスポーツ 大会参加事業助成	4月～3月		小学生 中学生	町内の児童生徒が全道・全国スポーツ大会等に参加する場合、その交通費の助成を行う。
朝のラジオ体操	5月10日 ～10月下旬 6時30分～	阿蘇公園	町民	健康づくりを目的に、朝のラジオ体操を実施する。
町民スポーツの日	4月～3月 毎月いずれか の日曜日	総合体育館 西当別コミセン	町民	町民の体力向上及び健康増進を目的に、総合体育館及び西当別コミュニティーセンターアリーナを無料開放を行う。
青少年 スポーツの時間	不定期 土曜日 9時～12時	総合体育館 西当別コミセン	町内の 小・中・高 校生と その保護者	青少年の体力向上を図ることを目的に、体育館アリーナの無料開放を行う。

➤ 2 社会教育施設

白樺コミュニティーセンター

ふれスポ with AMB による指定管理 [平成28年4月1日開始]

所在地 石狩郡当別町白樺町 2792 番地 1
 電話 0133-23-2511 FAX 0133-23-2516

開館時間 午前9時～午後10時

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）
 年末年始（12月30日～1月5日）

施設概要 多目的ホール、大研修室、小研修室、
 調理実習室、和室、談話室



年度\区分	小研修室	調理実習室	多目的ホール	大研修室	和室1	和室2・3	談話室	計	
26	件数	264	76	688	220	259	86	0	1,563
	人数	4,830	478	14,262	4,565	1,577	510	0	26,516
27	件数	236	52	649	149	256	128	0	1,470
	人数	4,079	466	10,289	4,235	1,793	907	0	21,769
28	件数	255	53	665	212	222	83	1	1,491
	人数	3,672	1,040	15,041	4,150	1,709	992	9	26,613

利用状況

西当別コミュニティーセンター

所在地 石狩郡当別町太美町 22 番地 7
 電話 0133-26-3300 FAX 0133-26-3600

開館時間 午前9時～午後10時

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）
 年末年始（12月30日～1月5日）

施設概要 アリーナ、図書室、大会議室、和室、
 研修室、会議室、調理室、更衣室、
 シャワー室



利用状況

年度\区分	アリーナ	大会議室	和室	研修室	調理室	会議室	他（見学）	計	
26	件数	990	359	233	257	88	384	0	2,311
	人数	18,491	14,861	3,768	4,925	870	3,182	0	46,097
27	件数	937	340	239	236	74	454	0	2,280
	人数	20,047	19,836	4,904	5,327	992	5,199	0	56,305
28	件数	979	367	126	197	61	380	0	2,110
	人数	20,806	11,735	3,296	3,335	562	3,096	0	42,830

当別町学習交流センター “ふくろう図書館”

所在地 石狩郡当別町錦町 1248 番地 7
電話・FAX 0133-23-0573

開館時間 午前 10 時 ～ 午後 5 時

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）
年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）

貸出期間 2 週間以内（1 人 10 冊まで）



利用状況及び蔵書数

年度	貸出実績（冊）			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
26	14,822	6,243	21,065	4,214	1,151	5,365	9,329	7,602	16,931
27	15,967	7,208	23,175	4,623	1,208	5,831	9,686	7,977	17,663
28	16,311	6,471	22,782	4,927	1,062	5,989	10,289	8,561	18,850

西当別コミュニティーセンター図書室

所在地 石狩郡当別町太美町 22 番地 7
電話 0133-26-3300 FAX 0133-26-3600

開館時間 午前 10 時 ～ 午後 5 時（火～土 21:00 まで）

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）
年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）

貸出期間 2 週間以内（1 人 10 冊まで）



利用状況及び蔵書数

年度	貸出実績（冊）			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
26	16,538	6,538	23,076	4,743	1,314	6,057	8,541	7,764	16,305
27	15,068	5,478	20,546	4,415	1,006	5,421	8,401	7,806	16,207
28	17,035	5,837	22,872	4,409	1,081	5,490	8,807	8,172	16,979

世紀会館

所在地 石狩郡当別町園生 57 番地 8
電話 0133-23-2896

開館時間 午前 9 時 ～ 午後 10 時

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）
年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）

施設概要 洋室、集会室、和室



利用状況

年度\区分	洋室	集会室A	集会室B	和室	計	
26	件数	137	190	77	4	408
	人数	829	1,894	591	22	3,336
27	件数	135	175	57	5	372
	人数	1,043	1,932	466	37	3,478
28	件数	142	170	44	2	358
	人数	937	1,943	449	10	3,339

当別伊達記念館・伊達邸別館

明治4年、仙台藩一門・岩出山の伊達邦直主従によって開拓の鋤が入れられた当別町は、今もその歴史を大切に伝えている。伊達邸別館は明治13年、名士来村の際の宿泊や諸会議のための建物。隣接する伊達記念館には、開拓の労苦に感謝し、伊達家主従ゆかりの品々が展示されている。

所在地 石狩郡当別町元町 105 番地
電話 0133-22-3735

開館時間 午前 10 時 ～ 午後 4 時 30 分

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）
冬期間（11 月から 4 月まで）

料金 無料

利用状況

年度	件数	人数
26	228	1,328
	228	1,669
27	219	1,229
	1,229	

当別町総合体育館

ふれスポ with AMB による指定管理 [平成28年4月1日開始]

所在地 石狩郡当別町白樺町 2792 番地
電話 0133-22-3833 FAX 0133-22-3832

開館時間 午前9時～午後9時30分

休館日 第1・3月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）
年末年始（12月30日～1月5日）

施設概要 アリーナ、ランニングコース、
トレーニングルーム、弓道場、格技室
更衣室、シャワー室



利用状況

年度\区分	アリーナ	格技場	弓道場	トレーニングルーム	ランニングコース	計
26	件数	1,367	512	294		2,173
	人数	46,980	9,541	3,374	5,712	4,611
27	件数	1,378	502	382		2,262
	人数	46,828	8,959	4,720	5,881	4,169
28	件数	1,348	878	323		
	人数	54,295	10,772	3,154	8,481	5,051

※トレーニングルーム、ランニングコースは個人利用のみ

屋外体育施設等一覧

施設名	所在地・概要・問合せ先等
若葉球場	石狩郡当別町字上当別 2475 番地 6 バックネット、フェンス、スコアボード、ダッグアウト、土盛スタンド 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
阿蘇公園少年野球場	石狩郡当別町元町 1119 番地 1 バックネット、フェンス、ベンチ 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
相撲場	石狩郡当別町元町 1119 番地 3（阿蘇公園内） 土俵 1 面（屋根付き）、観覧席 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
栄公園テニスコート	石狩郡当別町栄町 1119 番地 7 全天候型コート 2 面 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
白樺公園テニスコート	石狩郡当別町白樺町 163 番地 1 クレーコート 4 面 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
当別小学校水泳プール ふれスポwith AMBによる指定管理 [平成28年4月1日開始]	石狩郡当別町元町 102 番地 25m×6 コース、幼児・低学年用プール、シャワー、ロッカー、採暖室 開設期間：6月～9月（月曜日、8/15・16は休館） 利用時間：10時～12時、13時～20時 問合せ先：0133-22-0787 または当別町総合体育館
フラワーパークゴルフ場	石狩郡当別町樺戸町 他（当別川河川緑地） 全 18 ホール 開設期間：5月～10月（火曜日は整備のため利用不可） 問合せ先：当別町総合体育館
あいあい公園少年野球場	石狩郡当別町太美町 1457 番地 1 バックネット、フェンス、ベンチ 開設期間：5月～10月 問合せ先：西当別コミュニティーセンター
あいあい公園パークゴルフ場	石狩郡当別町太美町 1457 番地 1 全 18 ホール 開設期間：5月～10月（月曜日は整備のため利用不可） 問合せ先：西当別コミュニティーセンター
遊遊公園テニスコート	石狩郡当別町当別太 2095 番地 1 他 オムニコート 2 面 開設期間：5月～10月 問合せ先：西当別コミュニティーセンター

子育て・幼児教育

- 1 子育て・幼児教育関係事業
 - 2 子育て・幼児教育施設
 - 3 保護者支援制度
-

➤ 1 子育て・幼児教育関係事業

1 特別保育事業

事業名	実施場所 及び日時	利用料等	対象	概要
延長保育事業	ふとみ保育所 18時30分 ～19時30分	課税世帯 1日300円 (月額上限) 2,500円 非課税世帯 1日60円 (月額上限) 600円	ふとみ保育所 利用児童	保護者の就労形態の多様化等により通常の保育時間を超えて保育の実施が必要な場合に延長保育を行う。
障がい児保育事業	ふとみ保育所 4月～3月	無料	ふとみ保育所 利用児童 (3歳児以上)	心身に障がいや発達に遅れを有する児童に対し、保育士を加配し適切な支援を行うことで、当該児童の心身の健全な発達及び育成を促進する。
一時預かり事業	ふとみ保育所 7時30分 ～18時30分	3歳児未満 1日2,000円 3歳児以上 1日1,500円 非課税世帯 無料	1歳6ヵ月～ 就学前	保護者が一時的に家庭での保育が困難な場合等、育児負担の軽減を図るため、児童に対し保育を行う。

2 子ども発達支援センター事業

事業名	実施場所 及び日時	利用料等	対象	概要
児童発達支援事業	子ども発達 支援センター 4月～3月	1回1,026円	未就学児	日常生活における基本的 動作や知識技能を習得し、 集団生活に適用することが できるよう、適切かつ効果 的な指導・訓練を行う。
放課後等 デイサービス事業	子ども発達 支援センター 4月～3月	放課後 1回 879円 学校休業日 1回1,017円	就学児	生活能力の向上のために 必要な訓練を行う等、社会と の交流を図ることができる よう、適切かつ効果的な 指導・訓練を行う。
保育所等訪問 支援事業	保育所等 所属施設 4月～3月	単独支援 1回1,121円 複数支援 1回1,048円	子ども発達 支援センター 利用者	保育所等における集団生活 に適應することができるよう、 当該保育所等において適切 かつ効果的な支援を行う。
障害児相談 支援事業	子ども発達 支援センター 4月～3月	無料	18歳以下	児童福祉法に基づく障害 児通所支援等の利用に必要な 障害児支援利用計画等を 作成し、サービス担当者会 議を開催する。
特定相談支援事業	子ども発達 支援センター 4月～3月	無料	一般	障害者総合支援法及び 介護保険法に基づく居宅 サービス等の利用に必要な サービス利用計画等を作成し、 サービス担当者会議を開催 する。

3 学童保育事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
放課後児童 健全育成事業	4月～3月(月～土) 【平日】 下校時～18時 【土・長期休業日】 8時～18時 ※18時～19時は 延長保育実施 (利用料別途必要)	当別子ども プレイハウス (当別小学校内) 西当別子ども プレイハウス (西当別小学校内)	小学生	仕事等の理由により、放課後等に保護者がいない家庭の児童の保育を行い、安全な環境で集団活動を行う。 【事業内容】 ・スポーツ活動 ・合同遠足 ・映画鑑賞 ・調理体験 ・ハンドクラフト ・お楽しみ会 ・放課後学習会 等

4 子育て支援事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
子育て支援拠点事業	4月～3月 (月～金)	当別町総合保健福祉センター (機能訓練室等) ふとみ保育所 (すみれルーム)	乳幼児と その保護者	町内の子育て中の親子の交流促進や育児相談、情報提供等きめ細かな子育て支援活動を実施するため、町内2か所に子育て支援センターを設置し、育児者の子育てに対する不安感、孤立感、負担感の解消を目指す。 【事業内容】 ・設定保育事業 キッズコース(独歩～就学前の子どもと保護者) ベビーコース(0歳～独歩の子どもと保護者) あそびのひろば(0歳～就学前の子どもと保護者) ・子育て講座 ・育児者リフレッシュ講座 ・子育て支援情報提供 ・子育て相談 等
子育て援助活動 支援事業 (ファミリー・サポート ・センター事業)	4月～3月		小学生以下 の子のいる 家庭	ファミリー・サポート・センター(地域において子どもの預かり等の援助を行いたい者と援助を受けたい者からなる会員組織)を設立し、地域の子育ては地域の力で支援する相互協力体制構築により、地域全体で子どもを育てる機運を高め、子育てしやすい環境を整備する。
児童虐待防止事業	4月～3月	各小・中学校	18歳未満 の子ども	児童虐待に対する適切な対応、防止、予防及び早期発見その他の児童虐待防止に関する啓発を行う。

➤ 2 子育て・幼児教育施設

ふとみ保育所

所在地 石狩郡当別町太美町 1480 番地 8
 電話 0133-26-2353 FAX 0133-26-2352

開所時間 午前 7 時 30 分 ～ 午後 6 時 30 分

休所日 日曜日、祝日
 年末年始（12 月 31 日～1 月 5 日）

施設概要 遊戯室、保育室、調理室、事務室、
 相談室



利用状況

(各年 3 月 31 日現在)

年度	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
26	13	9	17	17	21	22	99
27	12	12	9	18	17	26	94
28	6	16	15	11	18	17	83

子ども発達支援センター

所在地 石狩郡当別町西町 32 番地 1
 障害児通所支援事業所
 電話・FAX 0133-23-3009
 障害児相談支援・特定相談支援事業所
 電話 0133-23-2788

開設時間 午前 8 時 45 分 ～ 午後 5 時 15 分

休所日 土・日曜日、祝日
 年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）

施設概要 個別指導室、集団指導室、会議室、
 検査室、事務室



利用状況

年度\区分	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	障害児相談支援	特定相談支援	
26	人数	33	15	15	36	0
	件数	935	548	105	-	-
27	人数	40	9	10	53	0
	件数	1,207	291	82	-	-
28	人数	42	5	12	44	0
	件数	1,218	194	65	-	-

➤ 3 保護者支援制度（子育て・幼児教育）

1 私立幼稚園助成費

【対象施設：学校教育法に基づく私立幼稚園（※新制度に移行した幼稚園を除く）】

（ア）就園奨励費補助金

私立幼稚園に通園する幼児の保護者の経済的負担の軽減と公・私立間の保護者負担の格差是正を図るため、入園料・保育料の軽減を行った私立幼稚園に対し、補助金を交付する。

補助金の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
対象幼児数	133	130	0
補助金交付額	18,130	16,296	0

（イ）幼稚園特別支援教育費補助金

特別な支援が必要とされる幼児が在園し、かつ、特別支援教育支援員を置く町内の私立幼稚園に対し、補助金を交付する。

補助金の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
対象幼児数	2	4	4
補助金交付額	1,507	1,424	1,495

2 教育・保育施設等助成費

【対象施設：子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園・保育園・認定こども園】

（ア）施設型給付費

保護者の経済的負担を軽減するため、児童1人の教育・保育にかかる費用の額と当該児童に係る利用者負担額の差分を教育・保育施設に対し、施設型給付費を支給する。

また、利用者負担額は、町民税所得割額に応じ、保育所については既存の保育料と比較し、幼稚園については就園奨励費を考慮し、増額とならないよう設定している。

施設型給付費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
教育	対象児童数	-	2	122	
	給付額	-	705	58,390	
保育	対象児童数	-	93	72	
	給付額	-	76,240	56,432	
計	対象児童数	-	95	194	
	給付額	-	76,945	114,822	

(イ) 特別保育事業補助金等

多様な教育・保育ニーズへの対応を図るため、延長保育事業、障がい児保育事業、一時預かり事業を実施している保育所等に対し、補助金等を交付する。

補助金等の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
延長保育事業	実施施設数		2	2	2
	対象児童数		72	78	57
	補助金交付額		7,132	694	719
障がい児 保育事業	教育	対象児童数	4	4	5
		補助金交付額	3,781	3,852	4,819
	保育	対象児童数	2	4	5
		補助金交付額	3,822	7,762	8,945
	計	対象児童数	6	8	10
		補助金交付額	7,603	11,614	13,764
一時預かり事業 (一般型)	実施施設数		1	1	1
	対象児童数		41	23	25
	補助金交付額		2,460	2,460	2,897
一時預かり事業 (幼稚園型)	実施施設数		-	1	1
	対象児童数		-	77	66
	補助金交付額		-	2,028	2,123

資 料

- 1 教育委員
 - 2 組織図・分掌事務
 - 3 関係各種委員
 - 4 関係各種団体
 - 5 指定文化財一覧
 - 6 教育の沿革
-

➤ 1 教育委員

【 教育委員 】

平成29年6月1日現在

職 名	氏 名	就 任 年 月 日
委 員 (教育長職務代理者)	武 岡 和 廣	平成22年10月 1日就任 [2期]
委 員	白 井 応 隆	平成12年10月20日就任 [5期]
委 員	寺 田 郷 子	平成23年12月15日就任 [2期]
委 員	小 林 泰 雄	平成24年10月 1日就任 [2期]

【 教育長 】

平成29年6月1日現在

職 名	氏 名	就 任 年 月 日
教 育 長	本 庄 幸 賢	平成28年10月 1日就任 [1期]

【 歴代 教育長 】

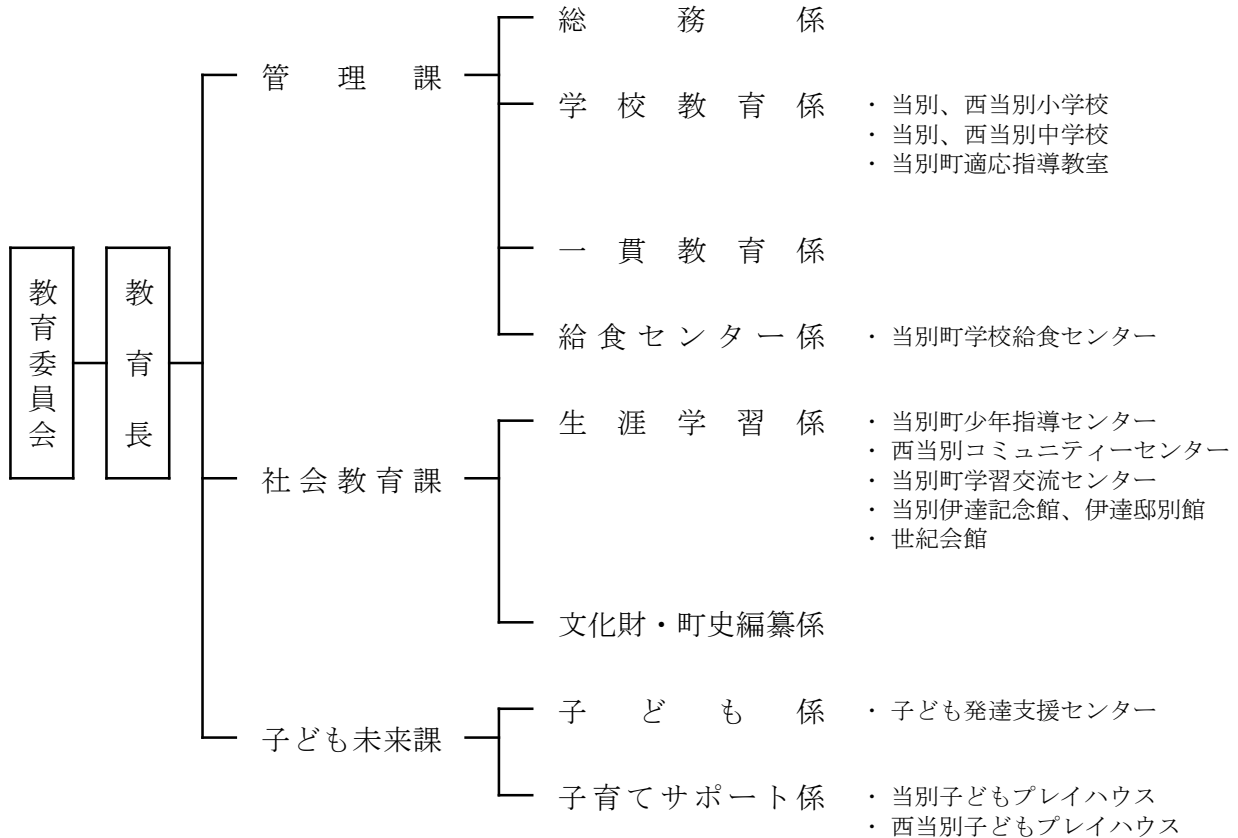
歴 代	氏 名	就 任 期 間
初代	山 田 勇	昭和27年11月 1日 ~ 昭和28年 1月 7日
2代	高 橋 鋼三郎	昭和28年 1月 8日 ~ 昭和32年 2月14日
3代	久 永 善 治	昭和32年 2月17日 ~ 昭和38年 3月31日
4代	高 砂 正 清	昭和38年 4月 1日 ~ 昭和51年 6月10日
5代	佐 藤 晴 之	昭和51年 6月21日 ~ 昭和61年 8月 5日
6代	有 澤 楨 雄	昭和61年 8月13日 ~ 平成 9年 8月22日
7代	藤 中 彰 二	平成 9年 8月25日 ~ 平成13年 9月30日
8代	高 橋 義	平成13年10月 1日 ~ 平成21年 9月30日
9代	山 内 秀 治	平成21年10月 1日 ~ 平成25年 9月30日
10代	本 庄 幸 賢	平成25年10月 1日 ~ 平成28年 9月30日
		平成28年10月 1日 ~ 現在 [新教育長]

※平成28年10月1日より新教育委員会制度に移行。

【 教育委員活動状況 】

活 動 名	活 動 日	場 所	備 考
平成28年第5回定例会	平成28年 4月20日	役場会議室	
第6回定例会	平成28年 5月19日	役場会議室	
第7回定例会	平成28年 6月24日	役場会議室	
教育委員視察研修	平成28年 6月24日	当別町	夢の国幼稚園、 発達支援センター
校長・教頭合同研修会	平成28年 6月28日	役場会議室	当別町小中学校長会・ 当別町教頭会主催
教育委員と語る会	平成28年 6月30日	役場会議室	当別町小中学校長会 主催
北海道市町村教育委員研修会	平成28年 7月 7日	札幌市教育 文化会館	北海道町村教育委員会 連合会主催
第1回当別町総合教育会議	平成28年 7月 8日	役場会議室	
第8回定例会	平成28年 7月28日	役場会議室	
第9回定例会	平成28年 8月24日	役場会議室	
第10回定例会	平成28年 9月29日	役場会議室	
第11回定例会	平成28年10月26日	役場会議室	
石狩管内教育委員会委員研修会	平成28年10月28日	千歳市総合 福祉センター	石狩管内教育委員会 協議会主催
教育委員視察研修	平成28年11月 9日	東川町	
第12回定例会	平成28年11月15日	役場会議室	
当別町小中一貫教育講演会	平成28年11月23日	ゆとろ	
第2回当別町総合教育会議	平成28年11月24日	役場会議室	
第13回定例会	平成28年12月21日	役場会議室	
当別町成人式	平成29年 1月 8日	総合体育館	
平成29年第1回定例会	平成29年 1月18日	役場会議室	
当別町少年の意見発表会	平成29年 2月11日	白樺コミセン	
当別町教育委員会表彰式	平成29年 2月18日	ゆとろ	
第2回定例会	平成29年 2月22日	役場会議室	
第3回臨時会	平成29年 3月 9日	役場会議室	
第4回定例会	平成29年 3月24日	役場会議室	

➤ 2 教育委員会組織図及び各課の分掌事務



【管理課】

- ・ 教育委員会に関すること
- ・ 事務局及び教育機関並びに附属機関の職員の人事に関すること
- ・ 学校教育の推進に関すること
- ・ 学校教育財産の管理に関すること
- ・ その他教育委員会の権限に属する事務で他課に属さない事務に関すること

【社会教育課】

- ・ 社会教育の計画及び推進に関すること
- ・ 社会教育施設に関すること
- ・ 文化財の保護に関すること
- ・ 社会教育に関する調査、研究及び資料の整備に関すること
- ・ 社会教育関係団体及び指導者の育成に関すること
- ・ 青少年健全育成及び対策に関すること
- ・ スポーツの振興に関すること
- ・ その他社会教育の指導及び事務に関すること

【子ども未来課】

- ・ 子育て支援施策の計画及び推進に関すること
- ・ 幼児教育及び保育に関すること
- ・ 子ども発達支援センターに関すること
- ・ ファミリーサポートセンターに関すること
- ・ 子どもプレイハウスに関すること
- ・ その他子育て支援に関すること

➤ 3 教育関係各種委員

(1) 当別町教育支援委員会

各委員：平成29年6月1日現在

教育支援委員会委員			
氏名		選任区分	所属
前田 史郎	第1号委員	医師	とうべつ内科クリニック
菅原 裕行	第2号委員	学識経験者	当別町立西当別中学校
難波 雅弘	第3号委員	特別支援学級設置校校長	当別町立西当別小学校
大久保 由希恵	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
武田 あゆみ	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
小林 雅美	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
佐藤 宏美	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別小学校
伊藤 千織	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立当別中学校
佐久間 亜美	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別中学校
宮本 優子	第4号委員	特別支援教育担当教諭	北海道拓北養護学校
長谷川 恵子	第5号委員	児童福祉関係職員	当別町役場福祉部保健課
五十嵐 京湖	第5号委員	児童福祉関係職員	当別町ふとみ保育所
砂田 敦子	第5号委員	児童福祉関係職員	当別夢の国幼稚園
門脇 一恵	第5号委員	児童福祉関係職員	当別町子ども発達支援センター

[任期] 平成29年5月1日～平成31年4月30日

教育支援委員会専門委員			
氏名		選任区分	所属
大久保 由希恵		特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
小林 雅美		特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
武田 あゆみ		特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
佐藤 宏美		特別支援教育担当教諭	当別町立西当別小学校
伊藤 千織		特別支援教育担当教諭	当別町立当別中学校
佐久間 亜美		特別支援教育担当教諭	当別町立西当別中学校

[任期] 平成29年5月1日～平成31年4月30日

(2) 当別町特別支援教育推進サポート組織

特別支援教育巡回相談チーム委員			
氏名		選任区分	所属
宮本 優子		特別支援学校教職員	北海道拓北養護学校
大久保 由希恵		特別支援学級設置校教職員	当別町立当別小学校
佐藤 宏美		特別支援学級設置校教職員	当別町立西当別小学校
伊藤 千織		特別支援学級設置校教職員	当別町立当別中学校
佐久間 亜美		特別支援学級設置校教職員	当別町立西当別中学校

特別支援教育専門家委員			
氏名		選任区分	所属
西 基	第1号委員	精神科、神経科、小児科等の医師	北海道医療大学
新田 大志	第2号委員	臨床心理士	当別町スクールカウンセラー
青山 眞二	第3号委員	有識者及び専門機関の委員	北海道教育大学教育学部札幌校
音羽 孝文	第3号委員	有識者及び専門機関の委員	石狩教育局教育支援課義務教育指導班

[任期] 平成29年5月1日～平成31年4月30日

(3) 学校評議員

当別小学校		当別中学校	
氏名	区分	氏名	区分
砂田 敦子	有識者	小田島 正高	地域住民
野口 和之	地域住民	難波 雅美	地域住民
武田 章子	地域住民	長谷部 直樹	地域住民
山田 健太	地域住民	稲村 英樹	保護者
泉 亭英徳	有識者	加藤 勇二	地域住民

西当別小学校		西当別中学校	
氏名	区分	氏名	区分
石田 洋三	地域住民	金子 景次郎	地域住民
五十嵐 京湖	有識者	袴田 万紀子	地域住民
大坪 圭子	地域住民	曾川 昭治	地域住民
新森 道博	地域住民	佐々木 彦治	地域住民
山田 佳秀	地域住民		

[任期] 平成29年5月1日～平成30年3月31日（全校）

(4) 当別町いじめ問題調査委員会

氏名	分野	職能区分	所属
寺田 悟	教育	学校臨床教授	北海道教育大学 教員養成改革推進本部
縄野 歩	法律	弁護士	札幌弁護士会
瀧澤 紫織	医療	精神科医	江別すずらん病院
富家 直明	心理	教授	北海道医療大学 心理科学部臨床心理学科
福間 麻紀	福祉	講師	北海道医療大学 看護福祉学部臨床福祉学科

[任期] 平成28年5月1日～平成30年4月30日

(5) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師

学校医（内科医・耳鼻科医・眼科医）				
学校名	内科医		耳鼻科医	眼科医
当別小学校	1～4年	前田 史郎	森本 賢治	小野 弘光
	5～6年	小野寺 晃彦		
西当別小学校	1～5年	兼子 聡	伊藤 順一	
	6年	朴 昶勲		
当別中学校	全学年	澤崎 孝司	伊藤 順一	
西当別中学校	全学年	朴 昶勲	森本 賢治	

学校歯科医・学校薬剤師			
学校名	歯科医		薬剤師
当別小学校	1～4年	齊藤 正人	片岡 芳仁
	5年	田西 和伸	
	6年	黒澤 遠奈	
西当別小学校	1～2年	相良 昌宏	田西 洋三
	3～6年	千葉 逸朗	
当別中学校	全学年	溝口 到	片岡 芳仁
西当別中学校	1～2年	秀 誠司	田西 洋三
	3年	相良 昌宏	

[任期] 平成29年4月1日～平成30年3月31日

(6) 当別町学校給食センター運営委員会

職名	氏名	選任区分
委員長	菅原 裕行	教職員
副委員長	山谷 潤	教職員
委員	山下 一美	教職員
委員	佐藤 涼子	教職員
委員	加藤 正	教職員
委員	佐渡 智美	保護者
委員	山田 佳秀	保護者
委員	近藤 留美	保護者
委員	田西 洋三	学識経験者
監事	稲村 時子	学識経験者
監事	見原 美智子	学識経験者

[任期] 平成27年12月22日～平成29年12月21日

(7) 当別町社会教育委員会

職名	氏名	選任区分
委員長	高橋 千枝子	学識経験者
副委員長	浜上 尚也	社会教育関係者
委員	難波 雅弘	学校教育関係者
委員	武岡 則夫	学校教育関係者
委員	宮尾 道子	社会教育関係者
委員	曾川 昭治	社会教育関係者
委員	大塚 慎太郎	社会教育関係者
委員	佐々木 成尉	家庭教育活動者
委員	吉野 裕宜	家庭教育活動者
委員	櫻田 昭嘉	学識経験者

[任期] 平成29年4月24日～平成31年4月23日

(8) 当別町文化財調査審議会

職名	氏名	選任区分
会長	鎌田 望	学識経験者
副会長	梅枝 正春	学識経験者
委員	倉田 守	学識経験者
委員	渡部 泰夫	学識経験者
委員	大口 弘美	学識経験者

[任期] 平成27年12月20日～平成29年12月19日

(9) 当別町少年指導センター

青少年健全育成協議委員	
氏名	関係機関・団体
冷川 裕美子	当別町民生児童委員協議会
荒井 静	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
稲村 英樹	当別町PTA連合会
吉野 裕宜	当別町子ども会育成連合会

[任期] 平成29年5月26日～平成30年5月25日

少年指導委員	
氏名	関係機関・団体
【当別地区】	
永井 克佳	当別小学校
三田 智郎	当別中学校
寺西 拓馬	当別高等学校
佐藤 政彦	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
斉藤 義則	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
荒井 静	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
棒田 克幸	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
向井 久美子	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
石澤 ひとみ	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
森川 充之	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
長谷川 廣美	当別町民生児童委員協議会
鰐渕 真太郎	当別小学校PTA
西村 雅章	当別中学校PTA
熊谷 宜樹	北栄町育成会
鈴木 孝幸	栄町育成会
後藤 尚範	元町育成会
【太美（西当別）地区】	
高津 健	西当別小学校
村上 直史	西当別中学校
山上 一郎	当別町民生児童委員協議会
藤田 力	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
鈴木 章造	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
宮本 勝則	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
川嶋 淳	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
開沼 文孝	西当別小学校PTA
吉野 裕宜	西当別中学校PTA
宮本 隆幸	太美北育成会
岡本 多津	スウェーデンヒルズ育成会
山田 佳秀	当別太ビトエ川下育成会

[任期] 平成29年5月26日～平成31年5月25日

(10) 当別町子ども読書活動推進委員会

職名	氏名	所属
委員長	大澤俊信	学識経験者
副委員長	刑部由美子	当別町役場教育委員会子ども未来課
委員	吉田友恵	ふとみ保育所
委員	文字絵里子	当別夢の国幼稚園
委員	小林雅美	当別小学校
委員	豊嶋真美	西当別小学校
委員	小笠原正恵	当別中学校
委員	入江典子	西当別中学校
委員	堀田則子	絵本交流会
委員	栗栖由香	当小絵本読み聞かせ隊
委員	柳本晶子	当別子どもの本の研究会
委員	堀江三千代	NPO 法人ゆめの種子トーペッ

[任期] 平成28年10月1日～平成30年9月30日

(11) 当別町スポーツ推進委員会

職名	氏名	分担事項
委員長	野口和之	野球、バスケットボール、ゴルフ、パークゴルフ、スナッグゴルフ
副委員長	浜上尚也	スキー、サイクリング、コーディネーション
委員	伊藤美穂子	水泳、ミニバレー、テニス、コーディネーション
委員	石澤ひとみ	陸上、ミニバレー、ドッジボール、コーディネーション
委員	日光正博	スキー、パークゴルフ、バレーボール、コーディネーション
委員	須藤豪	サッカー、コーディネーション
委員	木村純一	剣道、フライングディスク
委員	並川憲多	野球、サッカー
委員	栄木龍也	サッカー、軽スポーツ
委員	市川智大	野球、卓球、陸上
委員	中多美幸	ミニバレー
委員	石川美香	剣道、水泳、スキー、スケート
委員	宗本隆敏	剣道、ソフトボール、野球
委員	菅野敬正	陸上、トライアスロン
委員	谷口洋人	陸上、ミニバレー

[任期] 平成28年5月1日～平成30年4月30日

(12) 当別町子ども・子育て会議

氏名	区分	所属
今井常晶	第1号委員 学識経験	北海道医療大学
菅原裕行	第1号委員 学識経験	当別町小中学校長会
五十嵐京湖	第1号委員 学識経験	当別町ふとみ保育所
袴田万紀子	第2号委員 関係団体	当別町民生児童委員協議会
中梶慎太郎	第2号委員 関係団体	社会福祉法人 ゆうゆう
砂田敦子	第2号委員 関係団体	当別夢の国幼稚園
開沼文孝	第3号委員 保護者	当別町PTA連合会
瀬戸郁裕	第3号委員 保護者	当別夢の国幼稚園PTA
高重裕次	第3号委員 保護者	当別町ふとみ保育所父母会
明石実	第3号委員 保護者	
辻野浩	第4号委員 公募	
高橋昭大	第4号委員 公募	
津崎弘樹	第4号委員 公募	

[任期] 平成27年10月1日～平成29年9月30日

(13) 当別町要保護児童対策地域協議会

氏名	区分	所属
山下勝也	行政	当別町福祉部保健福祉課
辻野幸一	行政	当別町福祉部介護課
北村和也	行政	当別町教育委員会管理課
小出真二	行政	当別町教育委員会社会教育課
荻原貴男	行政	北海道中央児童相談所
岩本泉	行政	北海道石狩振興局保健環境部
菅原裕行	学校	当別町小中学校長会
吉野裕宜	学校	当別町PTA連合会
五十嵐京湖	保育所	当別町ふとみ保育所
砂田敦子	認定こども園	当別夢の国幼稚園
袴田万紀子	民生委員児童委員	当別町民生児童委員協議会
堀内教子	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
橋本俊一	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
宮崎直高	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
宮崎敏明	警察	札幌方面北警察署
前田史郎	医療機関	江別医師会当別ブロック

[任期] 平成29年4月1日～平成31年3月31日

➤ 4 教育関係各種団体

当別町文化協会 加盟団体		平成29年6月1日現在
区分	団体名	会員数
民謡	當香会	17
詩吟	当別詩吟の会	7
	日本詩吟学院岳風会太美道場	6
琴	大正琴ポピーの会	9
	さくら琴の会	7
舞踊	西川流舞踊教室当別鯉延会	11
	菊乃流菊ゆう会	5
	ひょっとこ踊り 玉福	4
洋舞	フラメンコ・ミ・アイレ	5
	子供の為のジャズダンスサークル SKIP	34
	フラダンス同好会アロハフラーズ	22
	花舞	14
音楽	当別町カラオケ連合会	61
	西当別カラオケ愛好会	21
	太美カラオケ愛好会	18
	東裏カラオケ愛好会	9
	レディス・ハーモニー	15
	当別混声合唱団パストラルクワイヤ	28
	チェリーベル	6
	当別アンサンブルファミリー	35
	おじさんバンド カントリーOJB	10
	郷土芸能	当別音頭を守る会
とうべつ太鼓保存会		4
茶華道	当別華道連盟	9
	当別裏千家茶道同好会	7
	西当別茶道教室	10
書道絵画	いけ花 池坊	9
	彩苑書道会	12
	太美書道教室	10
生活文化	玄遠書道サークル	4
	当別写真同好会	6
	末田手芸教室	15
	クレイ・クラフト・フラワー	2
	アートフラワー長谷川	6
	和裁サークル	8
	パッチワークサークル	4
	藍染サークル遊染	6
	北石狩農業協同組合女性部西当別ブロック	4
	ぽかゆるたいむ	4
	太美ヨガサークル	17
	日本棋院当別支部	33
	文芸	当別短歌会
合計		42団体 694名

当別町体育協会 加盟団体			
平成29年6月1日現在			
協会・連盟名	会員数	協会・連盟名	会員数
陸上競技協会	65	スキー連盟	90
軟式野球連盟	130	サッカー連盟	50
バレーボール協会	28	相撲国技会	25
弓道連盟	10	ソフトボール協会	19
卓球協会	71	テニス協会	33
バスケットボール協会	230	バウンドテニス協会	22
剣道連盟	88	ミニバレー協会	25
柔道連盟	6	パークゴルフ協会	250
合計 16団体 1,152名			

当別町子ども会育成連合会 加盟団体					
平成29年6月1日現在					
地区名	会員数	会員世帯数	地区名	会員数	会員世帯数
幸町	休会		樺戸町	12	9
北栄町	24	21	東裏	21	13
アウル	89	59	蔵岱	休会	
西町	54	41	若葉	休会	
元町	32	9	川下	休会	
緑町	17	14	太美北	休会	
東町	休会		太美寿	休会	
春日町	20	15	太美東	25	14
栄町	28	16	太美西	休会	
下川町	休会		太美中央	休会	
六軒町	休会		太美南	46	30
弁華別	休会		当別太ビトエ川下	20	11
茂平沢	休会		虹の子	休会	
みどり野	16	8	スウェーデンヒルズ	79	38
中小屋	休会		スターライト	休会	
金沢	休会				
合計 14地区 466名 298世帯					

当別町女性団体連絡協議会 加盟団体	
平成29年6月1日現在	
所 属	会員数
生活改善実践グループ	39
当別音頭を守る会	170
合計 2団体 209名	

➤ 5 指定文化財一覧

平成29年6月1日現在					
指定番号	品名	種別	指定・登録年月日	所在場所	摘要
1	伊達綱宗画筆対三幅	有形文化財	S 50.7.5	元町 伊達美知子氏が所有	伊達綱宗(寛永17年1640～正徳元年没1711年) 66才(宝永2年1705年)の画いたもので伊達正人が明治25年(1892年)三位男爵を賜りし折仙台伊達家本藩より御肴料1万足1折と共に拝領いたしたものの。 左・・・柏雉子 中・・・太公望 右・・・芦鴛鴦 【縦 214 c m 横 60.5 c m】
2	打掛(紫色)	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	宝永年間の初め(1704年～1707年)冷泉中納言為清女伊達家3代村泰公へ御入嫁の際お持ちしたものの。
3	振袖(赤色)	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	享保年間(1716年～1725年推定)冷泉家中納言為綱女伊達家4代村緝公へ御入嫁の際お持ちしたものの。
4	打掛(白色)	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	同上
5	長はかま及び着物	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	宝永4年生(1707年)～寛永元年没(1748年)伊達家5代村緝公が着用したものの。 (長はかまは近衛家より拝領品)
6	のしめ(室内着)及び帯	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	文化6年生(1809年)伊達家9代義監公が着用したものの。
7	陣羽織	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	天保5年生(1834年)～明治24年没(1891年)伊達家10代邦直公が着用したものの。
8	火事装束	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	同上
9	子供用綿入れ(2組)	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	文久2年生(1862年)～伊達家11代基理公が着用したものの。 (慶応、明治初期1825～1872年)
10	子供用単衣	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	同上
11	当別開拓の図	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別神社	伊達邦直公一行が当別の開拓を行っている状況を描いたもの。 (岩出山出身 正蘭氏筆) 【縦 68 c m 横 110.5 c m】
12	史蹟伊達邸別館	有形文化財	S 51.11.11	元町	明治13年建築 木造二階建 89.16㎡
13	当別音頭	無形文化財	H 25.3.27	当別音頭を守る会が所有	当別音頭は、昭和45当別町開基100年を記念してつくられた踊りで、その歌詞は当別の情景と輝く未来に向けての希望を歌っている。

➤ 6 教育の沿革

年号	できごと
明治 5年	・旧仙台岩出山藩主伊達邦直公が家臣とともに当別の地に移住
	・邑則により鮎田如牛が私塾を開設（当別小学校の前身）
6年	・鮎田如牛塾が当別教育所となる（鮎田如牛を教師に任じる）
12年	・下川通に校舎を建築し当別教育所を当別学校と改称（1棟35坪2階建・児童数60名）
13年	・小学校教則改正に伴い当別小学校と改正
19年	・当別小学校が当別簡易小学校に名称変更
24年	・学務委員を1名任命（現在の教育委員に相当） （明治33年には5人制、35年には議会より5人、公民権を持つ者から3人、教員より2人の10人制となる）
25年	・弁華別小学校が後の当別尋常小学校の分教場として創立
26年	・当別簡易小学校を当別尋常小学校と改称、修業年限4年制となる
29年	・太美小学校が当別尋常小学校第三分教場として創立
	・当別尋常小学校に修業年限2年の高等科を併置し当別尋常高等小学校とする （明治31年には高等科を3年に、32年には4年に変更）
32年	・金沢小学校が当別尋常高等小学校第三分教場として創立
33年	・中小屋小学校が当別尋常高等小学校第四分教場として創立
	・獅子内小学校が当別尋常高等小学校第五分教場として創立
34年	・青山小学校が青山簡易教育所として創立
	・青山中央小学校が青山奥簡易教育所として創立
	・当別高岡小学校が当別尋常高等小学校第六分教場として創立
35年	・戸長役場制から二級町村制へ移行
	・東裏小学校が東裏簡易教育所として創立
37年	・川下小学校が当別尋常高等小学校出張所として創立
38年	・弁華別小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置 （14歳以上の実業に従事している青年を対象に開設された後の青年学校、夜間学校）
39年	・当別尋常高等小学校の新校舎が現在の元町102番地に落成、移転
	・太美小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
40年	・二級町村から一級町村へ昇格
	・小学校令改正に伴い尋常科は義務制で6年、高等科は2年制となる （明治42年には高等科は3年制に変更）
	・青山小学校と青山中央小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
41年	・二股小学校が二股教育所として創立
42年	・三番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）三番川特別教授場として創立
	・四番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）四番川特別教授場として創立
43年	・当別小学校が北海道での優良校として表彰を受ける
44年	・蕨岱小学校が当別尋常高等小学校蕨岱特別教授場として創立
45年	・全町の児童数1,920人、教員数45人
大正 4年	・材木沢小学校が当別尋常高等小学校材木沢分校として創立
7年	・当別尋常高等小学校他5校に実業補習学校（農業補習学校）を併設
8年	・実業補習学校（農業補習学校）を3校増設し13校とする
9年	・当別小学校改築工事完成（工事費13万円・建物面積3,762㎡、普通教室24、特別教室6 （裁縫作法室、音楽室、理科室、標本器具室など）、暖房はペチカ方式を採用）
14年	・三番川小学校を四番川小学校に併合し一時閉校とする
昭和 9年	・札沼線当別一札幌間開通
昭和 10年	・青年学校令が公布され四番川小学校を除く各小学校に併設される（実業補習学校と青年 訓練所を統合）
16年	・小学校が国民学校と改められる（1学級あたりの児童数が増え初等科60人以下、高等科 50人以下となり、昭和19年にはそれぞれ75人、65人まで認められるようになる）
21年	・社会教育委員として10名が北海道庁長官から委嘱される（昭和24年社会教育法制定に

昭和 21 年	より解任、25 年より当別町教育委員会から委嘱) ・ 体育指導委員として 7 名が北海道庁長官から委嘱される (昭和 36 年よりスポーツ振興法が施行され当別町教育委員会から委嘱)
22 年	・ 当別村から当別町へ昇格 (町制施行) ・ 学制改革により 6・3・3 制に移行し国民学校を小学校と改称、青年学校は廃止される ・ 四番川小学校が全焼、新校舎落成 ・ 当別中学校が当別小学校に併置され創立 ・ 弁華別中学校が弁華別小学校に併置され創立 ・ 青山中央中学校が弁華別中学校青山中央分校として青山中央小学校に併置され創立 ・ 中小屋中学校が当別中学校中小屋分校として中小屋小学校に併置され創立 ・ 西当別中学校が獅子内小学校に併置され創立 ・ 四番川中学校が弁華別中学校四番川仮分校として四番川小学校に併置され創立 ・ 当別町体育連盟が組織される (昭和 34 年に体育協会に改組)
24 年	・ 第 1 回当別町成人式举行 ・ 当別高校が道立江別高校定時制当別分校として創立
25 年	・ 当別高岡中学校が西当別中学校高岡分校として当別高岡小学校に併置され創立
26 年	・ 獅子内小学校全焼 ・ 太美小学校と獅子内小学校を統合し西当別小学校を創立 ・ 三番川小学校が四番川小学校分教室として再発足
27 年	・ 当別町教育委員会発足 (公選により 4 人、町議会から 1 人の計 5 人が任命され、互選により山田茂氏が初代委員長、杉本初雄氏が副委員長に決定)
28 年	・ 二股中学校が青山中学校二股分校として二股小学校に併置され創立 ・ 三番川中学校が弁華別中学校四番川分校三番川分室として三番川小学校に併置され創立
31 年	・ 法改正により教育委員の公選制を廃止し町理事者推薦制となる ・ 当別町教育目標を設定し公表
38 年	・ 当別町公民館が当別町体育館として完成 (工事費 3,855 万円・建物面積 1,322 m ² ・体育室、個別訓練室、柔道室、剣道室)
39 年	・ 町立当別高等学校 (昭和 36 年発足・全日制、定時制併置) が道へ移管され道立となる ・ 当別小学校に特殊学級「いなほ学級」を設置 (1 学級・児童 10 名・教員 2 名) ・ 当別町青少年問題協議会発足 ・ 当別町相撲場完成 (面積 64 m ² ・屋根付き)
40 年	・ 当別町立幼稚園が当別小学校に併置され創立 ・ 材木沢小学校を閉校し当別小学校に統合 ・ 当別町体育総合道場完成 (工事費 280 万円・建物面積 201.5 m ² ・柔道、剣道、重量挙げ、弓道の道場として活用)
41 年	・ 当別中学校に特殊学級「ときわ学級」を設置 (1 学級) ・ 当別町学校水泳プール完成 (工事費 751 万円・規模：児童生徒用 25m×15m×1.2m、幼児用 10m×10m×0.6m)
42 年	・ 四番川中学校を閉校し青山中央中学校に統合 ・ 伴志ずえ奨学金運営委員会発足 ・ 当別町中学校発足 20 周年記念式典举行
43 年	・ 青山小学校が教育大学札幌分校の協力校として委嘱を受ける (47 年までの 4 年間) ・ 当別高岡中学校を閉校し西当別中学校に統合
44 年	・ 当別中学校を現在の下川町 125 番地に移築 (工事費 20,500 万円・建物面積 5116.61 m ²) ・ 当別小学校屋内体育館改築 (工事費 2,293 万円・建物面積 912 m ²)
45 年	・ 開基 100 年記念祝典及び記念諸行事開催 ・ 当別町開拓郷土館完成 (工事費 1,417 万円・建物面積 337.48 m ²) ・ 当別町公民館世紀分館完成 (工事費 410 万円・建物面積 165 m ² ・会議室、和室 3 室) ・ 当別町青少年会館完成 (工事費 1,474 万円・建物面積 448 m ² ・体育室、集会室、和室、厨房兼実習室等) ・ 当別町栄公園テニスコート完成 (2 面・面積 1,330 m ²)
46 年	・ 三番川小中学校を閉校し青山中央小中学校に統合 ・ 当別町弓道場完成 (面積 224 m ² ・射的場)

昭和 46 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町西当別プール完成（工事費 1,537 万円・規模：競泳 25m×10m×1.2m、低学年用 10m×5m×0.7m、児童用 5m×5m×0.4m）
47 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別小学校校舎改築（46 年 1 期工事、47 年 2 期工事・総工事費 26,000 万円・建物面積 4,857 m²） 当別幼稚園園舎新築（工事費 2,385 万円・建物面積 580 m²）
48 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町中小屋スキー場完成（工事費 434 万円・総面積 11,719 m²）
49 年	<ul style="list-style-type: none"> 四番川小学校を閉校し青山中央小学校に統合 中小屋スキー場にジャンプ台設置（工事費 140 万円・総面積 2,400 m²・25m 級ジャンプ台）
50 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町青山中央プール完成（工事費 1,855 万円・規模：25m×10m・上屋付） 青山小学校を閉校し弁華別小学校に統合 二股小中学校を廃止し青山中央小中学校に統合 当別町立幼稚園を「当別幼稚園」と「鉄北幼稚園」に分離新設（工事費 5,325 万円・建物面積 612 m²・4 月から完成までの間は旧青山小学校校舎を利用） 東日本学園大学が当別町金沢に薬学部を開設（53 年歯学部及び附属病院開設、59 年歯科衛生士専門学校開設、60 年教養部を音別町から移転、平成 5 年看護福祉学部開設、6 年校名を北海道医療大学に変更）
51 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町社会教育指導員設置
52 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町中学校発足 30 周年記念式典挙行 当別町第 2 プール完成（工事費 2,600 万円・規模：25m×10m・上屋付） 当別町若葉球場完成（工事費 6,300 万円・総面積 12,133 m²） 当別町青少年センター完成（工事費 4,434 万円・建物面積 351 m²・集会室、図書室兼視聴覚室、娯楽室兼遊戯室、和室、厨房兼実習室） 青山中央小中学校新校舎完成
53 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町南部地域会館完成（建物面積 227 m²・研修室、会議室、和室、厨房室） 中小屋中学校新校舎完成
54 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町体育協会創立 20 周年記念式典挙行 当別町東裏プール完成（工事費 1,955 万円・規模：20m×10m） 当別町若葉サッカー場完成（1 面・面積 7,000 m²） 当別町若葉テニスコート完成（2 面・面積 1,368 m²）
56 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町弁華別プール完成（工事費 3,090 万円・規模：25m×10m） 当別町阿蘇公園少年野球場完成（工事費 1,350 万円・面積 6,590 m²）
57 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別ロータリークラブ奨学金制度発足 当別町中小屋プール完成（工事費 2,982 万円・規模：25m×10m） 当別町しらかばテニスコート完成（工事費 2,297 万円・4 面・面積 5,100 m²） 当別伊達記念館完成（工事費 3,654 万円・建物面積 161.59 m²・開拓資料展示） 伊達邸別館完成（移転工事費 515 万円・建物面積 92.53 m²・復元資料展示・明治 13 年建築）
59 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町教育奨励賞制定 当別町栄公園テニスコート（全天候型）完成（工事費 2,270 万円・全天候型 2 面・面積 1,330 m²）
60 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別川河川公園ゲートボール場完成（4 面）
62 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町スポーツ賞制定
63 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別小学校に「ことばの教室」開級（1 学級認可）
平成 元年	<ul style="list-style-type: none"> 金沢小学校を閉校し当別小学校に統合 当別町総合体育館完成（総工事費 12 億 9,000 万円・敷地面積 10,802 m²・建物面積 4,287.94 m²・アリーナ、弓道場、格技場、ランニングコース、トレーニングルーム） 当別町体育協会創立 30 周年記念式典挙行
2 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町きららパークゴルフ場完成（8 ホール、平成 3 年 4 ホール増設）
3 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別高岡小学校を閉校し西当別小学校に統合 当別町少年指導センターを当別町公民館内に設置（専任指導員 2 名配置） 当別町母子通園センター「ゆりのこ」開園 当別町屋内ゲートボール場完成（建物面積 910.8 m²・鉄骨及び膜構造・2 面）
4 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別小学校水泳プール完成（全面改築・総工事費 2 億 3,460 万円・建物面積 1,103 m²・規模：一般用 25m×17m、低学年用 他） 学校週 5 日制スタート 当別町学校体育施設開放事業開始

平成 5 年	・当別川河川緑地パークゴルフ場完成 (18 ホール、現在の当別町フラワーパークゴルフ場)
6 年	・当別町東裏地域会館完成 (工事費 3,700 万円・建物面積 244 m ² ・調理実習室、和室、大会議室、研修室)
7 年	・当別町学校給食センター完成 (工事費 8 億 3,039 万円・鉄筋・鉄骨コンクリート造・ドライシステム、8 年 1 月より全 13 校で給食開始) ・少年の国内研修事業、婦人の国内研修事業開始
8 年	・中小屋小学校が火災により焼失
9 年	・西当別コミュニティーセンター完成 (工事費 9 億 5,795 万円・敷地面積 4,949 m ² ・建物面積 2,068 m ² ・鉄筋コンクリート造・アリーナ、大会議室、会議室、研修室、和室、調理室、図書室) ・当別町中学校開校 50 周年記念式開催
10 年	・中小屋小学校新校舎完成 (工事費 3 億 576 万円・総床面積 1,105 m ² ・普通教室 3、特別教室 2、多目的ホール)
11 年	・当別町生涯学習推進計画策定 ・当別町公民館世紀分館改築 (工事費 3,150 万円・総床面積 182.25 m ² ・集会室 2 室、洋室、和室、厨房)
12 年	・青山中央小中学校を閉校し弁華別小学校、弁華別中学校に統合 (宿泊研修施設「青山交流館」として供用開始) ・当別町青山中央プール廃止
13 年	・当別町適応指導教室設置 ・学校評議員制度開始 ・当別町少年指導センターを子どもハウス内に移転
14 年	・当別町子ども議会開催 ・当別町歴史ボランティア設置
15 年	・文部科学省モデル地域事業「NPO 等と学校教育との連携の在り方」についての実践研究事業実施 (15～16 年度) ・伴志ずえ奨学金制度廃止 ・当別町少年指導センターを当別町公民館内に移転 ・当別町東裏地域会館を地域集会施設として財政課に移管 ・当別町南部地域会館を地域集会施設として財政課に移管 ・当別町第 2 プール廃止 ・当別町東裏プール廃止 ・当別町中小屋プール廃止
16 年	・川下小学校を閉校し当別小学校に統合 ・文部科学省地域子ども教室推進事業 当別町地域子ども教室「サタデーキッズスクール」開始 ・当別町第 2 次生涯学習推進計画策定
17 年	・中小屋中学校を閉校し当別中学校に統合 ・当別町文化賞制定
18 年	・中小屋小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別幼稚園と鉄北幼稚園を統合 (鉄北幼稚園の園舎を使用し園名は当別幼稚園) ・当別中学校、弁華別中学校が「北海道キャリア教育実践プロジェクト指定地域」(18 年度)となる ・国立教育政策研究所委嘱事業「小・中連携教育実践研究事業」実施 (18～19 年度、西当別小・西当別中) ・子ども待機スペース交流活動推進事業「オアシス」開始 ・当別町弁華別プール廃止
19 年	・蕨岱小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別町西当別プール廃止 ・旧農村環境改善センターを転用し白樺コミュニティーセンターとして設置 ・当別町少年指導センターを当別町総合体育館内に移転 ・当別町青少年会館をプレイハウスとして子育て推進課に移管 ・弁華別中学校が(社)国土緑化推進機構主催平成 18 年度全日本学校関係緑化コンクール「学校林等活動の部」農林水産大臣賞受賞 ・公民館図書室を当別町学習交流センター (旧当別町青少年センター) へ移転し“ふくろう図書館”として開設

平成 19 年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町公民館及び開拓郷土館廃止 ・当別町特別支援教育推進サポート組織設置 ・「子どもの健全育成サポートシステム」開始
20 年	<ul style="list-style-type: none"> ・東裏小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別町少年指導センターを白樺コミュニティーセンター内に移転 ・当別総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会発足 ・地域子ども教室「わくわくキッズ」開始
21 年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町学校支援地域本部事業開始 ・当別町総合体育館アリーナ床補修工事 ・当別町女性団体連絡協議会創立 40 周年記念式典挙行 ・第 3 次当別町生涯学習推進計画策定 ・白樺コミュニティーセンター多目的ホール床等改修工事 ・当別町文化協会創立 40 周年記念式典挙行 ・当別小学校水泳プール改修工事
22 年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町体育協会創立 50 周年記念式典挙行 ・当別総合型地域スポーツクラブ設立 ・当別町子どもの読書活動推進計画（5 カ年計画）策定 ・当別町 140 年記念式典及び記念諸行事開催 ・当別小学校校舎・当別中学校校舎及び体育館・西当別中学校体育館耐震補強工事 ・町内各小学校でフッ化物洗口事業を開始（1 年生から年度毎に 1 学年ずつ拡大）
23 年	<ul style="list-style-type: none"> ・町立当別幼稚園を閉園し園舎を解体 ・社会福祉法人高陽福祉会が認定こども園当別夢の国幼稚園を開園 ・適応指導教室を白樺コミュニティーセンターに移転 ・当別町家庭教育の手引き発刊
24 年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別小学校体育館落成(工事費 2 億 8,896 万円・総床面積 983 m²・鉄骨造一部鉄筋コンクリート造・アリーナ、ステージ、器具庫 3 室、放送室、トイレ、更衣室、昇降口、渡り廊下) ・栄町教職員住宅解体工事 ・当別町立小・中学校で 2 学期制を導入 ・当別プレイハウスが当別小学校内に移転 ・当別中学校音楽教室外壁が体育館からの落雪により破損し、同年修繕 ・弁華別中学校屋内体育館屋根が強風により破損し、同年復旧 ・西当別中学校校舎屋根改修
25 年	<ul style="list-style-type: none"> ・「当別音頭」を当別町無形文化財に指定 ・西当別中学校教員住宅解体 ・当別小学校北校舎トイレ改修工事 ・当別中学校トイレ改修工事 ・西当別中学校屋内体育館大規模改修工事 ・西当別中学校給水設備改修工事
26 年	<ul style="list-style-type: none"> ・第 4 次当別町生涯学習推進計画策定 ・教育委員会管理課に一貫教育推進係を新設 ・土曜学習会の開始 ・西当別プレイハウスが西当別小学校内に移転 ・西当別小学校の重油配管から油漏洩、同年配管を改修 ・当別町いじめ防止基本方針策定
27 年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町小中一貫教育に関する取組基本方針策定 ・当別町子ども発達支援センター完成 ・当別町子どもの読書活動推進計画（第 2 次計画）策定 ・家読の日を制定（毎月 23 日） ・町内各小学校のフッ化物洗口事業を 1 年生から 6 年生まで実施 ・放課後学習会の開始 ・文部科学省委託事業「小中一貫教育推進事業」実施（平成 27～29 年度）
28 年	<ul style="list-style-type: none"> ・弁華別小学校を閉校し当別小学校に統合 ・弁華別中学校を閉校し当別中学校に統合

29 年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町社会体育施設（当別町総合体育館、白樺コミュニティーセンター、当別小学校水泳プール）に指定管理者制度を導入 ・教育委員会事務局に子ども未来課を新設し、就学前の子どもに関する業務を福祉部から移管 ・教育委員会社会教育課に町史編纂係を新設 ・当別町いじめ問題調査委員会条例制定及び設置 ・町内各中学校でフッ化物洗口事業を開始（1年生から年度毎に1学年ずつ拡大） ・西当別小学校教員住宅解体（2棟2戸）、弁華別小学校教員住宅解体（2棟2戸） ・「こころのふれあい通学合宿」が文部科学大表彰受賞 ・(有)鋼営工業から目的寄付120万円を採納し、西当別中学校のバスケットボードを改修 ・当別町通学路安全推進連絡会議設置要綱制定及び設置 ・中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校として小中一貫教育の実施（当別小学校－当別中学校、西当別小学校－西当別中学校）
------	---

平成29年度
当別町の教育

平成29年6月発行

編集・発行：当別町教育委員会